

立命館大学大学院  
2017年度実施 入学試験

博士課程前期課程

人間科学研究科

領域	入試方式	実施月	専門基礎		外国語		小論文	
			ページ	備考	ページ	備考	ページ	備考
心理学領域	一般入学試験	9月	P.1~		P.65~			
		2月	P.9~		P.69~			
	社会人入学試験	9月						
		11月						
	社会人入学試験(協定)	9月						
		11月						
	外国人留学生入学試験	9月	P.1~				×	非公開
		2月	P.9~				×	非公開
	学内進学入学試験	9月						
		2月						
	APU特別受入入学試験	9月						
		2月						
臨床心理学領域	一般入学試験	9月	P.17~		P.65~			
		2月	P.29~		P.69~			
	社会人入学試験	9月	P.17~					
		2月	P.29~					
	外国人留学生入学試験	9月	P.17~				×	非公開
		2月	P.29~				×	非公開
	学内進学入学試験	9月						
		2月						
APU特別受入入学試験	9月							
	2月							
対人援助学領域	一般入学試験	9月	P.42~		P.65~			
		2月	P.53~		P.69~			
	社会人入学試験	9月						
		11月						
	社会人入学試験(協定)	9月						
		11月						
	外国人留学生入学試験	9月	P.42~				×	非公開
		2月	P.53~				×	非公開
	学内進学入学試験	9月						
		2月						
	APU特別受入入学試験	9月						
		2月						

立命館大学大学院  
2017年度実施 入学試験  
博士課程後期課程

# 人間科学研究科

入試方式	実施月	外国語	
		ページ	備考
一般入学試験	9月	P.72～	
	2月	P.76～	
社会人入学試験	9月		
	2月		
外国人留学生入学試験	9月		
	2月		
学内進学入学試験	9月		
	2月		

問題は回収します

2018 年度

立命館大学  
人間科学研究科入学試験問題

(2017 年 9 月 24 日実施)

博士課程前期課程

「心理学領域」・専門基礎

<全入試方式共通>

<1 時限目 90 分>

問 1 を必ず解答し、問 2 と問 3 からどちらか 1 問を選択し、解答しなさい。

問 2 と問 3 を両方解答した場合は、すべてを採点対象としない。

問 1 : 心理学基礎, 問 2 : 心理学, 問 3 : 心理学研究法

※解答する問の解答用紙には、すべてに受験番号と氏名を記入しなさい。

## 問 1 (心理学基礎)

[A] 以下の各問について、正しいと思うものを選択肢の中から1つ選びなさい。

- (1) 交絡因子の関与が最も少ないと期待できるのは、以下のうちどれか。
1. 医師が自由に選択した胆石の2つの処置法とその治癒率の違い
  2. 大学全学部合計受験者の男女間に入試通過率の違い
  3. コーヒーの摂取量と心筋梗塞の発生率の関係
  4. 暴力映像視聴群と非視聴群の間の視聴後暴力発生率の違い
- (2) 半構造化面接の説明として最も適切なものはどれか。
1. 被面接者の問題点や状態像、家族歴、生育歴などの事例史を収集するための面接法
  2. 被面接者の語る内容や感情、思考、行動などに焦点を当ててフィードバックを与える面接法
  3. 被面接者の状況や回答に応じて、事前に想定した質問の表現、順序、内容などを変える面接法
  4. 必要な情報を一定の基準で得るために設定された質問項目にしたがって行う面接法
- (3) 世界最初の心理学実験室が設置されたのはどこか。
1. オーストリアのウィーン大学
  2. アメリカのハーバード大学
  3. ドイツのライプツィヒ大学
  4. ドイツのヴュルツブルク大学
- (4) 次の文中 A～C にあてはまる用語の組み合わせとして、最も妥当なものはどれか。  
実験参加者に 10～50 語ほどのリストから一つずつ単語を呈示して覚えてもらい、覚えた語を思い出した順に再生してもらう (A) 再生テストを行うと、短期記憶からの読み出しによって再生率が高くなる (B) 効果と、長期記憶への定着によって再生率が高くなる (C) 効果が観察される。
1. A:自由 B:新近 C:初頭
  2. A:系列 B:新近 C:初頭
  3. A:自由 B:初頭 C:新近
  4. A:系列 B:初頭 C:新近

(5) たとえば、「カラスは尿酸結晶を分泌する」という事実に基づく知識から、「鳥類は尿酸結晶を分泌する」のではないかと考えるタイプの推論を何というか。

1. 非単調推論
2. アブダクション
3. 帰納的推論
4. 演繹的推論

(6) 一度ある刺激に注意が向けられると、数百ミリ秒の間、他の刺激を認識することが困難になることが、高速逐次視覚呈示法などによって明らかにされているが、この現象を何というか。

1. 負のプライミング
2. 注意の瞬き
3. 非注意による見落とし（あるいは、非注意盲）
4. 変化の見落とし（あるいは、変化盲）

(7) Vygotsky, L. S. の Piaget, J. への批判に関する以下の文章で、空欄 A・B に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれか。

Vygotsky, L. S. の批判は、4, 5 歳頃に出現する独り言の解釈に向けられた。Piaget, J. は、自己中心性の現れであると解釈したが、Vygotsky, L. S. はこれが他者伝達と自己内伝達（思考）の両面の役割を持つとし、( A )と呼んだ。( A )が音声を失い、( B )になると主張した。

1. A: 初語      B: 内言
2. A: 初語      B: 母語
3. A: 外言      B: 内言
4. A: 外言      B: 母語

(8) 青年期に関する用語とそれに関連の深い人物との対応として、適切な組み合わせはどれか。

1. 自我同一性—James, W.
2. 学習性無力感—Erikson, E. H.
3. 集団的思考—Levin, K.
4. 疾風怒濤—Hall, G. S.

(9) 認知方略の発達について説明した以下の文章の空欄 A~C に、当てはまる組み合わせとして、最も正しいものはどれか。

( A ) は、発達の過程で、教示されれば有効な認知方略 (リハーサルや体制化など) を使用できるにもかかわらず、自発的にはそれを使用しない時期があることを見いだし、この現象を ( B ) と名づけた。他方で、認知方略を持っていないために教示しても使わない現象は ( C ) と呼ばれる。

1. A: Bruner, J.      B: 産出欠如      C: 媒介欠如
2. A: Bruner, J.      B: 媒介欠如      C: 産出欠如
3. A: Flavell, J.      B: 産出欠如      C: 媒介欠如
4. A: Flavell, J.      B: 媒介欠如      C: 産出欠如

(10) 個人に対して何らかの処遇や配分を決める場面において、下される配分の結果が他者と等しいだけでなく、その配分を決定する仕組みや制度の正しさについての適切さの知覚を何と呼ぶか。

1. 分配的公正
2. 応報的公正
3. 相対的剥奪
4. 手続き的公正

(11) Rosenberg, M. の提唱した自尊心 (self-esteem) について、日常場面で発生する様々な出来事を受けて揺れ動き変動する性質をもつ自尊心として適切なものは以下のうちのどれか。

1. 状態自尊心
2. 特性自尊心
3. 顕在的自尊心
4. 潜在的自尊心

(12) パーソナリティ研究において、「行動遺伝学の三法則」に当てはまらないものはどれか。

1. 共有環境の影響は概して小さい
2. 心理・行動的特徴では非共有環境の影響が大きい
3. 心理的特徴については、共有環境の影響が非共有環境の影響より大きい
4. 身体的特徴のみならず、知能やさまざまなパーソナリティなどの心理・行動的特徴にある程度の遺伝の影響がある。

(13) DSM-5において、PTSDを診断するうえで必須の症状とされていないものは以下のうちどれか。

1. 持続的な回避
2. 解離症状
3. 侵入症状
4. 認知と気分の陰性変化

(14) 患者の主観的な体験を重視し、詳細な観察に基づき、統合失調症と判断するにたる症状を「一級症状」と名づけたのは誰か。

1. Bleuler, E.
2. Kraepelin, E.
3. Freud, S.
4. Schneider, K.

(15) 自殺に関するア～オの記述で適切なものには○、不適切なものには×を付けた場合、その組み合わせとして正しいものはどれか。

(ア) 自殺予防の3段階とは、「プリベンション」「インターベンション」「ポストベンション」である。(イ) ゲートキーパーになるためには、専門的な訓練が不可欠である。

(ウ) マスメディアの自殺報道に影響されて、似たような自殺が生じる現象を「ウェルテル効果」という。(エ) 自殺すると口に出す人は、ほぼその行為(自殺)に至らない。(オ) 遺族へのケアは、自殺予防の概念に含まれない。

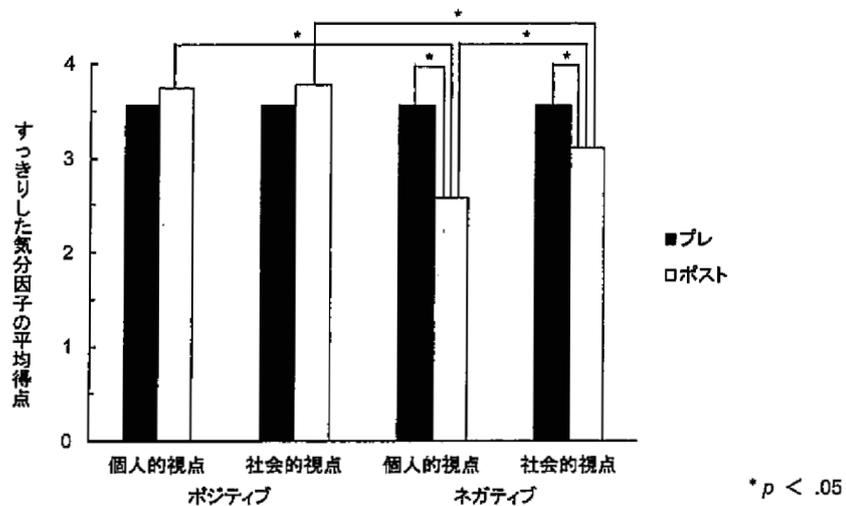
- |        |     |     |     |     |
|--------|-----|-----|-----|-----|
| 1. ア:○ | イ:○ | ウ:○ | エ:× | オ:○ |
| 2. ア:× | イ:× | ウ:○ | エ:× | オ:○ |
| 3. ア:○ | イ:× | ウ:○ | エ:× | オ:× |
| 4. ア:× | イ:○ | ウ:× | エ:○ | オ:× |

[B] 以下の用語の中から任意の5個を選択し、それぞれ50～100字で意味をわかりやすく説明しなさい。解答欄の【 】に選択した用語を記入しなさい。順番は問わない。

- ・独立変数と従属変数
- ・参与観察法
- ・(記憶における) 処理水準
- ・視交叉
- ・概念地図法
- ・内発的動機づけ
- ・認知的不協和理論
- ・基本的原因帰属の錯誤
- ・転移と逆転移
- ・自閉症スペクトラム障害

## 問2 (心理学)

短文の詩を読むことによる気晴らしの効果に着目し、一般の大学生を対象に検討を行った実験研究がある。参加者は気晴らしに関する質問紙に回答し、2分間詩を黙読した後、再び同じ内容の質問紙に回答した。下記の図は、「すっきりした気分」(嫌な気分が紛れることや爽快な気分)について、2(詩の種類: ポジティブな感情を生起させる内容, ネガティブな感情を生起させる内容) × 2(詩の視点<sup>注</sup>): 個人的, 社会的) × 2(測定時期: プレ, ポスト) の3要因実験参加者内分散分析を実施した結果である。図の数値は大きいほど、「すっきりした気分」が強い状態を意味する。この結果をふまえ、以下の各問に答えなさい。



(注) 「個人的視点」とは、たとえば存在することそれ自体の素晴らしさを詠った内容で、自己完結的な方向性を示す。

「社会的視点」とは、たとえば空虚な喪失感を詠った内容で、自己だけではなく他の生命も含む方向性を示す。

(出典) 森田晴香・菅村玄二 (2014). 詩の黙読が感情状態と気晴らしに与える効果 心理学研究, 85, 437-444. (一部改変)

- (1) 本実験において、読詩による気晴らしの効果は認められたといえるだろうか。結果から読み取れることを説明しなさい。(400字以内)
- (2) この実験の問題点や限界をふまえると、あなたならばどのような実験または調査を行うだろうか。研究計画について説明しなさい。(400字以内)

### 問3 (心理学研究法)

大学生を対象として、睡眠時間と主観的幸福感の関係を検討した調査があったと仮定する。大学生 200 人から、昨日の睡眠時間を聴取し、さらに、今の幸福感の程度を 5 段階で聞いた(「全く幸せではない」の 1 点から「たいへん幸せである」の 5 点で評定させた)。その結果、睡眠時間と主観的幸福感の間に有意な相関が確認されたとする。このことから、主観的幸福感を高めるには、睡眠時間を確保することが重要である、という結論を研究者は導いた。この架空の調査には心理学研究法上、いくつかの問題点がある。問題点について以下の各問に答えなさい。

- (1) この調査での睡眠時間のデータの取り方について、「信頼性」という観点から、さらに主観的幸福感のデータの取り方について、「妥当性」という観点から、問題点を説明しなさい。(200 字以内)
- (2) (1) で指摘した「信頼性」「妥当性」の問題について、それを修正するにはどのような工夫が必要かを説明しなさい。(200 字以内)
- (3) 統計上「有意な相関」がみられたとは、どのような意味を指すのかを具体的に説明しなさい。(200 字以内)
- (4) この調査では、「主観的幸福感を高めるためには睡眠時間を確保することが重要である」という結論に至っている。この結論はどこに問題があるのかを具体的に説明しなさい。(200 字以内)

問題は回収します

2018 年度

立命館大学

人間科学研究科入学試験問題

(2018 年 2 月 11 日実施)

博士課程前期課程

「心理学領域」 専門基礎

<全入試方式共通>

<1 時限目 90 分>

問 1 を必ず解答し、問 2 と問 3 からどちらか 1 問を選択し、解答しなさい。

問 2 と問 3 を両方解答した場合は、すべてを採点対象としない。

問 1 : 心理学基礎, 問 2 : 心理学, 問 3 : 心理学研究法

※解答する問の解答用紙には、すべてに受験番号と氏名を記入しなさい。

## 問 1 (心理学基礎)

[A] 以下の各問について、正しいと思うものを選択肢の中から 1 つ選びなさい。

(1) 心理アセスメントの説明として最も適切なものはどれか

1. 検査者は正確な検査を行う必要があるため、被検査者とは検査の教示以外は話さない。
2. 一般的に共通してみられる傾向を測る。
3. 複数の方法を組み合わせることで被検査者をより深く理解できる。
4. 1 回の検査では信頼性に欠けるため、同じ検査を複数回にわたって実施する。

(2) 以下の研究者名と業績の組合せとして、不適切なものはどれか。

1. Vygotsky, L.S. —内言・外言
2. Wertheimer, M. —エネルギー心理学
3. Thorndike, E.L. —効果の法則
4. Fisher, R.A. —分散分析

(3) 騒音による作業効率の低下を調べるため、大学生 60 人を 2 つのグループに分けた。

1 つのグループは騒音が聞こえる実験室で計算問題を、もう 1 つのグループは騒音が聞こえない実験室で計算問題を解いた。この場合、実験群は何か。

1. 60 人
2. 計算問題
3. 騒音が聞こえる実験室で計算問題を解いたグループ
4. 騒音が聞こえない実験室で計算問題を解いたグループ

(4) 般化に関する記述として、不適切なものはどれか。

1. 刺激般化は 2 つの刺激の類似性が大きいほど般化の量が大きくなり、類似性が少なくなるほど般化が少なくなるカーブを描く。
2. 1,000 Hz の音を各条件刺激として唾液条件づけを行った後、条件刺激と類似した 1,200 Hz の音を提示してテストをすると、1,200 Hz の音に対しても条件反応が生じる。
3. 幼児の自発的な「マンマ」という発話に対して親が注目にしたり反応したりする（強化）と、「マンマ」という発話が増えるだけでなく、それ以外の発話（たとえば、「プー」）も増え、発話全体が増加する。
4. 単語の視覚提示を条件刺激、プザー音を無条件刺激として GSR の条件づけを行った後、発音はまったく異なるが意味的には類似した同義語や、正反対の意味を持つ対義語を提示してテストをすると、同義語に対してのみ条件反応が生じる。

(5) 記憶の区分にはいろいろあるが、記憶内容に記銘した際の時間や場所等の情報を含んでいるか否かによって区分されているのはどれか。

1. 回想記憶と展望記憶
2. エピソード記憶と意味記憶
3. 顕在記憶と潜在記憶
4. 短期記憶と長期記憶

(6) 隣のホームの列車が動き出すと、とまっているはずの自分の乗った列車が動き出したように知覚されてしまうことがある。この知覚現象の名称として、もっとも適切なものはどれか。

1. 誘導運動
2. 運動残効
3.  $\beta$  運動
4. 自動運動

(7) 馴化と脱馴化の説明として、不適切なものはどれか

1. 繰り返し、あるいは長期にわたって提示された刺激に対し、当初は生じていた反応が生じにくくなることを馴化という。
2. 馴化によって弱められていた反応が元に戻ることを、脱馴化という。
3. 馴化—脱馴化の方法を用いることで、言葉を話せない乳幼児や動物の刺激弁別の有無を調べることができる。
4. 馴化—脱馴化は心拍や皮膚体温などの生理的指標によってのみ測定される。

(8) Vygotsky, L.S. の社会文化理論と関連する項目として、もっとも適切なものはどれか。

1. 認知的不協和理論
2. 自我境界
3. 発達の最近接領域
4. S-R 理論

(9) エリクソンの発達段階において「同一性 vs. 同一性拡散」のすぐ次に想定される段階はどれか。

1. 統合性 vs. 絶望
2. 親密性 vs. 孤立
3. 勤勉性 vs. 劣等感
4. 信頼 vs. 不信

(10) 感情が意思決定に影響を与える仕組みとして、危険などに直面したときに身体に起こる反応を脳に伝える信号をソマティック・マーカーと呼んだのは誰か。

1. Damasio, A.R.
2. Izard, C.E.
3. Schachter, S.
4. Ekman, P.

(11) リスク・コミュニケーションに関するア～オの記述で適切なものには○、不適切なものには×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものはどれか。

リスク・コミュニケーションの代表的な定義は、National Research Council (1989) の(ア)「人、機関、集団間での情報や意見のやりとりの相互作用過程」で、対象となるリスクとして(イ)化学物質やアレルギー物質、(ウ)原子力分野や自然災害、(エ)いじめ、虐待、DVなどがあげられる。(オ)リスク・コミュニケーション状況としては個人的選択 (personal choice) の状況と社会的論争 (public debate) の状況を分けておくことが重要である。

1. ア× イ○ ウ× エ× オ○
2. ア○ イ× ウ○ エ× オ○
3. ア× イ○ ウ× エ○ オ×
4. ア○ イ○ ウ○ エ× オ○

(12) パーソナリティに関する用語とそれに関連の深い人物の対応として、不適切なものはどれか。

1. 類型論—Kretschmer, E.
2. 特性論—Eysenck, H.J.
3. BIS/BAS—Krahe, B.
4. 一貫性論争—Mischel, W.

(13) 食事や着替え、トイレ、移動などの日常生活に不可欠な基本的行動を示す略語として適切なものはどれか。

1. ADL
2. QOL
3. ASD
4. SCT

(14) 特別支援教育の説明として適切なものはどれか。

1. 特別支援教育は、特別支援学校や特別支援学級に在籍している生徒を対象にしている。
2. 特別支援教育では一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行うため「個別の教育支援計画」を作成する。
3. 特別支援学校は単一の障害種別（例えば肢体不自由や視覚障害）毎に設置されなければならない。
4. 高等学校では、特別支援教育を行うことはない。

(15) トークンエコノミーの説明としてもっとも適切なものはどれか。

1. ほめ言葉やご褒美の代わりに、コインやシールなどを強化子として与えることである。
2. ほめ言葉やご褒美と併用して、コインやシールなどを強化子として与えることである。
3. 適切な行動に対して、コインやシールが強化子として与えられ、コインやシールは複数の他の強化子と交換可能である。
4. 適切な行動に対して、コインやシールが強化子として与えられ、コインやシールは複数の他の強化子と交換可能である。さらに不適切な行動に対しては、コインやシールが没収されるシステムである。

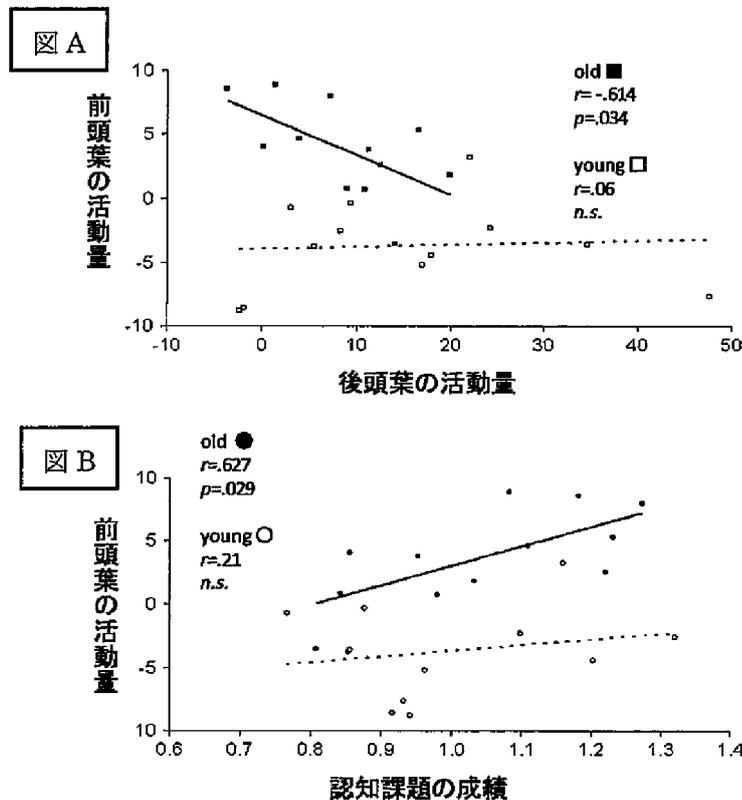
[B] 以下の用語の中から任意の5個を選択し、それぞれ50～100字で意味をわかりやすく説明しなさい。解答欄の【 】に選択した用語を記入しなさい。順番は問わない。

- ・質的研究
- ・(心理学研究における) インフォームドコンセント
- ・半側空間無視
- ・ワーキングメモリ
- ・吸啜(きゅうてつ)反射
- ・ソシオグラム
- ・心理的リアクタンス
- ・ステレオタイプ
- ・認知行動療法
- ・セルフエフィカシー(自己効力感)

## 問 2 (心理学)

以下の文章を読んで設問に答えなさい。

大学生と高齢者各 12 名を対象として、認知課題を実施したときの脳の活動量を見た実験研究がある。下記の図 A (上図)は認知課題実施時の、前頭葉と後頭葉の活動量の関係を示した散布図と回帰直線である。■が高齢者、□が大学生の分布を、直線が高齢者、点線が大学生の回帰直線を示している。図 B (下図) は前頭葉の活動量と認知課題の成績との関係をみた散布図である。●が高齢者、○が大学生の分布を、直線が高齢者、点線が大学生の回帰直線を示している。なお、高齢者は、認知課題の成績において、大学生とほぼ同じ成績をとった者のみを分析対象とした。この結果をふまえ、下の各問に答えなさい。



(注) 活動量は数値が大きくなるほど、活性化したことを意味し、認知課題の成績は数値が大きくなるほど、高い成績であったことを意味する。数値はいずれも標準化されたものであり単位はない。なお、図中の統計量は、相関係数と有意性検定の結果(危険率)を示している。

(出典)

Simon W. Davis Nancy A. Dennis Sander M. Daselaar Mathias S. Fleck Roberto Cabeza,  
*Qué PASA? The Posterior-Anterior Shift in Aging, from Cerebral Cortex, May 1, 2008, Figure 3.*  
 Reproduced with permission of Oxford University Press. (一部改変)

- (1) 図 A の結果はどんなことを示しているだろうか。図中に示されている統計量を参考にして、図が表している実験結果をことばで説明しなさい。(200 字以内)

- (2) 図 B の結果はどんなことを示しているだろうか。図中に示されている統計量を参考にして、図が表している実験結果をことばで説明しなさい。(200 字以内)
- (3) 図 A と図 B の結果を総合的に解釈すると、どのようなことが考えられるか。あなたの考えを述べなさい。(200 字以内)
- (4) この実験の問題点や限界を考え、それを踏まえて、あなたなら次に、どのような実験や調査を行うか。その研究の目的と方法を説明しなさい。(200 字以内)

### 問3 (心理学研究法)

以下の文章を読んで設問に答えなさい。

Aさんは、青年期のパーソナリティと友人との同調行動との関連性についての調査研究を行った。

まず、友人との同調行動を測定するための評定尺度を作成した(研究Ⅰ)。研究Ⅰの具体的な手順は、次のとおりである。独自に友人との同調行動に関する30項目を考え出し、高校生200名(男女各100名)、大学生200名(男女各100名)を対象に同項目(5段階評定)からなる質問紙調査を実施した。回収された400名分をデータをあわせて因子分析を行い、3因子(それぞれ10項目ずつ)が抽出された。

Aさんはそれに引き続いて、パーソナリティを測定する尺度と上記の尺度との関連性を調べるための調査を行った(研究Ⅱ)。

上記のような研究の進め方について以下の設問に答えなさい。

- (1) 研究Ⅰの友人との同調行動を測定する尺度作成までのAさんの手続きにはどんな問題点があったか。また、そのような問題点が生じないようにするにはどんな手続きが必要だったか。上記について、「構成概念」「先行研究」「項目の選定」というキーワードを用いながら説明しなさい。ただし、キーワードを用いる順序や回数に制限はない。(400字以内)
- (2) Aさんは、研究Ⅱに進む前に行うべき重要な手続きを行っていない。それについて、「項目分析」「信頼性」「妥当性」というキーワードを用いながら説明しなさい。ただし、キーワードを用いる順序や回数に制限はない。(400字以内)

問題は回収します

2018 年度

立命館大学

人間科学研究科入学試験問題

(2017 年 9 月 24 日実施)

博士課程前期課程

**「臨床心理学領域」・専門基礎**

<全入試方式共通>

<1 時限目 90 分>

問 1～8 の中から 2 問を選び解答しなさい。ただし問 1 か問 2 どちら

らか 1 問を必ず含むこと。(問 1 と問 2 の 2 問を選択してもよい。)

3 問以上解答した場合は、すべてを採点対象としない。

問 1 : 臨床心理学 (心理療法), 問 2 : 臨床心理学 (心理検査), 問 3 : 心理学基礎, 問 4 : 心理学, 問 5 : 心理学研究法, 問 6 : 教育学, 問 7 : 社会福祉学, 問 8 : 社会学

※解答する問の解答用紙には、すべてに受験番号と氏名を記入しなさい。

## 問1 (臨床心理学 (心理療法))

心理療法を行う人には一定の適性(性格特徴、心理的傾向など)が必要だと考えられる。その適性に欠ける人にはさまざまなタイプが考えられるが、その中から重要と思われるものを3つあげ、それぞれのタイプがどのような意味で適性に欠けるのかを、心理療法における治療者の役割に関連づけながら述べなさい。(800字以内)

## 問2 (臨床心理学 (心理検査))

描画を用いた心理検査には、バウムテスト、人物画テスト、HTP(家・樹木・人物)テストなどの課題画と、自由な題材で描く自由画がある。これについて、①課題画と自由画のねらいの違い、②実施する場合のそれぞれの留意点、③心理臨床におけるそれぞれの活かし方を述べなさい。(800字以内)

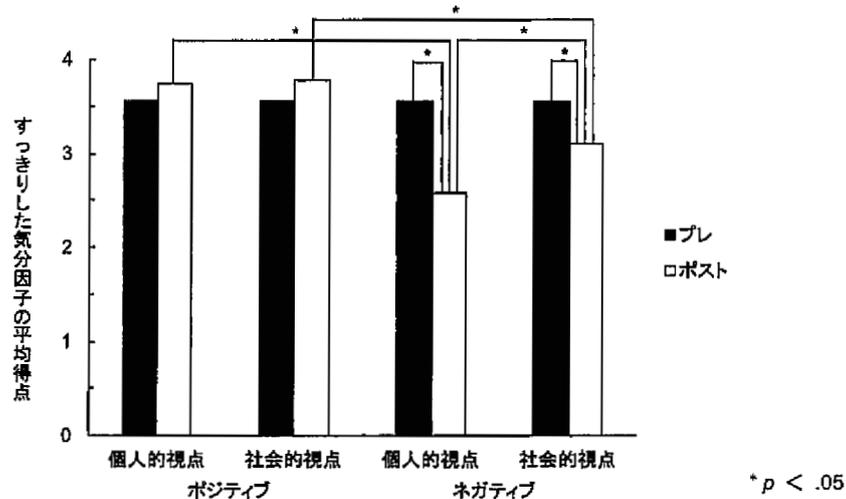
### 問 3 (心理学基礎)

[A] 以下の各問について、正しいと思うものを選択肢の中から1つ選びなさい。

- (1) 交絡因子の関与が最も少ないと期待できるのは、以下のうちどれか。
1. 医師が自由に選択した胆石の2つの処置法とその治癒率の違い
  2. 大学全学部の合計受験者の男女間の入試通過率の違い
  3. コーヒーの摂取量と心筋梗塞の発生率の関係
  4. 暴力映像視聴群と非視聴群の間の視聴後暴力発生率の違い
- (2) 半構造化面接の説明として最も適切なものはどれか。
1. 被面接者の問題点や状態像、家族歴、生育歴などの事例史を収集するための面接法
  2. 被面接者の語る内容や感情、思考、行動などに焦点を当ててフィードバックを与える面接法
  3. 被面接者の状況や回答に応じて、事前に想定した質問の表現、順序、内容などを変える面接法
  4. 必要な情報を一定の基準で得るために設定された質問項目にしたがって行う面接法
- (3) 世界最初の心理学実験室が設置されたのはどこか。
1. オーストリアのウィーン大学
  2. アメリカのハーバード大学
  3. ドイツのライプツィヒ大学
  4. ドイツのヴュルツブルク大学
- (4) 次の文中 A～C にあてはまる用語の組み合わせとして、最も妥当なものはどれか。  
実験参加者に 10～50 語ほどのリストから一つずつ単語を呈示して覚えてもらい、覚えた語を思い出した順に再生してもらう (A) 再生テストを行うと、短期記憶からの読み出しによって再生率が高くなる (B) 効果と、長期記憶への定着によって再生率が高くなる (C) 効果が観察される。
1. A:自由 B:新近 C:初頭
  2. A:系列 B:新近 C:初頭
  3. A:自由 B:初頭 C:新近
  4. A:系列 B:初頭 C:新近

## 問 4 (心理学)

短文の詩を読むことによる気晴らしの効果に着目し、一般の大学生を対象に検討を行った実験研究がある。参加者は気晴らしに関する質問紙に回答し、2分間詩を黙読した後、再び同じ内容の質問紙に回答した。下記の図は、「すっきりした気分」(嫌な気分が紛れることや爽快な気分)について、2(詩の種類: ポジティブな感情を生起させる内容, ネガティブな感情を生起させる内容) × 2(詩の視点<sup>注</sup>): 個人的, 社会的) × 2(測定時期: プレ, ポスト) の3要因実験参加者内分散分析を実施した結果である。図の数値は大きいほど、「すっきりした気分」が強い状態を意味する。この結果をふまえ、以下の各問に答えなさい。



(注) 「個人的視点」とは、たとえば存在することそれ自体の素晴らしさを詠った内容で、自己完結的な方向性を示す。

「社会的視点」とは、たとえば空虚な喪失感を詠った内容で、自己だけではなく他の生命も含む方向性を示す。

(出典) 森田晴香・菅村玄二 (2014). 詩の黙読が感情状態と気晴らしに与える効果 心理学研究, 85, 437-444. (一部改変)

(1) 本実験において、読詩による気晴らしの効果は認められたといえるだろうか。結果から読み取れることを説明しなさい。(400字以内)

(2) この実験の問題点や限界をふまえると、あなたならばどのような実験または調査を行うだろうか。研究計画について説明しなさい。(400字以内)

(5) たとえば、「カラスは尿酸結晶を分泌する」という事実に基づく知識から、「鳥類は尿酸結晶を分泌する」のではないかと考えるタイプの推論を何というか。

1. 非単調推論
2. アブダクション
3. 帰納的推論
4. 演繹的推論

(6) 一度ある刺激に注意が向けられると、数百ミリ秒の間、他の刺激を認識することが困難になることが、高速逐次視覚呈示法などによって明らかにされているが、この現象を何というか。

1. 負のプライミング
2. 注意の瞬き
3. 非注意による見落とし（あるいは、非注意盲）
4. 変化の見落とし（あるいは、変化盲）

(7) Vygotsky, L. S. の Piaget, J. への批判に関する以下の文章で、空欄 A・B に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれか。

Vygotsky, L. S. の批判は、4, 5 歳頃に出現する独り言の解釈に向けられた。Piaget, J. は、自己中心性の現れであると解釈したが、Vygotsky, L. S. はこれが他者伝達と自己内伝達（思考）の両面の役割を持つとし、( A )と呼んだ。( A )が音声を失い、( B )になると主張した。

1. A: 初語      B: 内言
2. A: 初語      B: 母語
3. A: 外言      B: 内言
4. A: 外言      B: 母語

(8) 青年期に関する用語とそれに関連の深い人物との対応として、適切な組み合わせはどれか。

1. 自我同一性—James, W.
2. 学習性無力感—Erikson, E. H.
3. 集団的思考—Levin, K.
4. 疾風怒濤—Hall, G. S.

(9) 認知方略の発達について説明した以下の文章の空欄 A～C に、当てはまる組み合わせとして、最も正しいものはどれか。

( A ) は、発達の中で、教示されれば有効な認知方略 (リハーサルや体制化など) を使用できるにもかかわらず、自発的にはそれを使用しない時期があることを見だし、この現象を ( B ) と名づけた。他方で、認知方略を持っていないために教示しても使わない現象は ( C ) と呼ばれる。

- |                   |         |         |
|-------------------|---------|---------|
| 1. A: Bruner, J.  | B: 産出欠如 | C: 媒介欠如 |
| 2. A: Bruner, J.  | B: 媒介欠如 | C: 産出欠如 |
| 3. A: Flavell, J. | B: 産出欠如 | C: 媒介欠如 |
| 4. A: Flavell, J. | B: 媒介欠如 | C: 産出欠如 |

(10) 個人に対して何らかの処遇や配分を決める場面において、下される配分の結果が他者と等しいだけでなく、その配分を決定する仕組みや制度の正しさについての適切さの知覚を何と呼ぶか。

1. 分配的公正
2. 応報的公正
3. 相対的剥奪
4. 手続き的公正

(11) Rosenberg, M. の提唱した自尊心 (self-esteem) について、日常場面で発生する様々な出来事を受けて揺れ動き変動する性質をもつ自尊心として適切なものは以下のうちのどれか。

1. 状態自尊心
2. 特性自尊心
3. 顕在的自尊心
4. 潜在的自尊心

(12) パーソナリティ研究において、「行動遺伝学の三法則」に当てはまらないものはどれか。

1. 共有環境の影響は概して小さい
2. 心理・行動的特徴では非共有環境の影響が大きい
3. 心理的特徴については、共有環境の影響が非共有環境の影響より大きい
4. 身体的特徴のみならず、知能やさまざまなパーソナリティなどの心理・行動的特徴にある程度の遺伝の影響がある。

(13) DSM-5において、PTSDを診断するうえで必須の症状とされていないものは以下のうちどれか。

1. 持続的な回避
2. 解離症状
3. 侵入症状
4. 認知と気分の陰性変化

(14) 患者の主観的な体験を重視し、詳細な観察に基づき、統合失調症と判断するにたる症状を「一級症状」と名づけたのは誰か。

1. Bleuler, E.
2. Kraepelin, E.
3. Freud, S.
4. Schneider, K.

(15) 自殺に関するア～オの記述で適切なものには○、不適切なものには×を付けた場合、その組み合わせとして正しいものはどれか。

(ア) 自殺予防の3段階とは、「プリベンション」「インターベンション」「ポストベンション」である。(イ) ゲートキーパーになるためには、専門的な訓練が不可欠である。

(ウ) マスメディアの自殺報道に影響されて、似たような自殺が生じる現象を「ウェルテル効果」という。(エ) 自殺すると口に出す人は、ほぼその行為(自殺)に至らない。(オ) 遺族へのケアは、自殺予防の概念に含まれない。

- |        |     |     |     |     |
|--------|-----|-----|-----|-----|
| 1. ア:○ | イ:○ | ウ:○ | エ:× | オ:○ |
| 2. ア:× | イ:× | ウ:○ | エ:× | オ:○ |
| 3. ア:○ | イ:× | ウ:○ | エ:× | オ:× |
| 4. ア:× | イ:○ | ウ:× | エ:○ | オ:× |

[B] 以下の用語の中から任意の5個を選択し、それぞれ50～100字で意味をわかりやすく説明しなさい。解答欄の【 】に選択した用語を記入しなさい。順番は問わない。

- ・独立変数と従属変数
- ・参与観察法
- ・(記憶における)処理水準
- ・視交叉
- ・概念地図法
- ・内発的動機づけ
- ・認知的不協和理論
- ・基本的原因帰属の錯誤
- ・転移と逆転移
- ・自閉症スペクトラム障害

## 問 5 (心理学研究法)

大学生を対象として、睡眠時間と主観的幸福感の関係を検討した調査があったと仮定する。大学生 200 人から、昨日の睡眠時間を聴取し、さらに、今の幸福感の程度を 5 段階で聞いた(「全く幸せではない」の 1 点から「たいへん幸せである」の 5 点で評定させた)。その結果、睡眠時間と主観的幸福感の間に有意な相関が確認されたとする。このことから、主観的幸福感を高めるには、睡眠時間を確保することが重要である、という結論を研究者は導いた。この架空の調査には心理学研究法上、いくつかの問題点がある。問題点について以下の各問に答えなさい。

- (1) この調査での睡眠時間のデータの取り方について、「信頼性」という観点から、さらに主観的幸福感のデータの取り方について、「妥当性」という観点から、問題点を説明しなさい。(200 字以内)
- (2) (1) で指摘した「信頼性」「妥当性」の問題について、それを修正するにはどのような工夫が必要かを説明しなさい。(200 字以内)
- (3) 統計上「有意な相関」がみられたとは、どのような意味を指すのかを具体的に説明しなさい。(200 字以内)
- (4) この調査では、「主観的幸福感を高めるためには睡眠時間を確保することが重要である」という結論に至っている。この結論はどこに問題があるのかを具体的に説明しなさい。(200 字以内)

## 問 6 (教育学)

下記の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

近年、休職や退職に追い込まれている教員が増加している。文部科学省が毎年行なう全国調査によると、うつ病など精神疾患による病気で休職した小学校・中学校・高等学校等公立学校の教員数は病気休職者の60%を越えている。文部科学省の委託で行なわれている教員勤務実態調査によれば、全国の公立小学校・中学校教員の70%以上が「保護者や地域住民への対応が増した」と感じており、その結果「授業の準備時間が足りない」と支障を訴える教員も小学校・中学校ともに70%以上という結果が出た。

(多賀幹子 2008 「親たちの暴走 日米英のモンスターペアレント」 あさひ新書)

- (1) 教員の精神疾患意による休職者数を減少させるための対策としては、どのようなことが考えられるか、あなたの考えを述べなさい。(400字以内)
  
- (2) 教員が対応に苦慮する保護者は「モンスターペアレント」と呼ばれることがある。「モンスターペアレント」がもつ問題について、教育学的観点からあなたの考えを述べなさい。(400字以内)

## 問7 (社会福祉学)

下記の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

クライアントのニーズ充足や、彼らがかかえる課題の解決・緩和を図ろうとするソーシャルワーク実践では、単に相談にのるということにとどまらず、具体的な援助を実施するため、「社会資源」をコーディネートすることが非常に重要だとされている。

- (1) 「社会資源」とはどのようなものか、具体例をあげて説明しなさい。(200字以内)
  
- (2) 「独居の高齢者Aさんは、最近買い物ができなくなり困っている」という事例において、「社会資源」をコーディネートするとは例えばどうすることか、具体的に記述しなさい。(600字以内)

## 問 8 (社会学)

下記の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

Putnam, R. D. (2015) は、過去 50 年にわたる先進 8 カ国（イギリス、アメリカ、フランス、ドイツ、スペイン、スウェーデン、オーストラリア、日本）における社会関係資本の変化を比較することにより、日本だけが他の国々と異なっていると指摘し、次のように述べている。

・・・猪口が描く日本の社会関係資本はこの本に収められた他の国々の様子ときわめて異な  
ったままである。例えば、他のすべての国では、市民的関与や社会的な繋がりは、社会経済  
的な地位と密接に結びついており、そして実際、この社会関係資本の分布における不平等は  
拡大しつつあるようだ。これに対して、日本では、社会参加は実際に教育レベルの低い層で  
より高い、と報告している。

(出典

ロバート・D・パットナム (著), 猪口 孝 (訳), 流動化する民主主義, pp.334-335, ミネルヴァ書房, 2013年

Robert D. Putnam, *Democracies in Flux*, p.398, ©2002 by Oxford university Press, Inc. By permission of Oxford University Press, USA)

- (1) 下線が付された日本の現状の報告についてあなたはどのように考えるか述べなさい。  
(400 字以内)
- (2) 下線部分の指摘をふまえると、日本において、対人援助職者が援助活動を実践する際に  
留意すべきこととしてどのようなものがあると思うか、あなたの考えを述べなさい。  
(400 字以内)

問題は回収します

2018 年度

立命館大学

人間科学研究科入学試験問題

(2018 年 2 月 11 日実施)

博士課程前期課程

「臨床心理学領域」 専門基礎

<全入試方式共通>

<1 時限目 90 分>

問 1～8 の中から 2 問を選び解答しなさい。ただし問 1 か問 2 どちら

らか 1 問を必ず含むこと。(問 1 と問 2 の 2 問を選択してもよい。)

3 問以上解答した場合は、すべてを採点対象としない。

問 1：臨床心理学（心理療法）、問 2：臨床心理学（心理検査）、問 3：心理学基礎、問 4：心理学、問 5：心理学研究法、問 6：教育学、問 7：社会福祉学、問 8：社会学

※解答する問の解答用紙には、すべてに受験番号と氏名を記入しなさい。

## 問 1 (臨床心理学 (心理療法))

小児科医で精神療法家でもある Winnicott, D.W. は、子どもの精神発達における母子関係の意義を強調したことで知られており、彼が提唱した概念に「ほどよい母親」(good enough mother) というものがある。この概念とプレイセラピーにおけるセラピストの役割に関わる以下の設問に答えなさい。

- (1) プレイセラピーにおけるセラピストの態度や姿勢として重要なもののうち、3つをあげなさい。(400字以内)
- (2) Winnicott, D.W. の言う「ほどよい母親」とはどのような母親のことか、また「ほどよい母親」は乳児の精神発達においてどのような意味を持つかについて説明しなさい。(200字以内)。
- (3) 「ほどよい母親」は、プレイセラピーにおけるセラピストの役割と重なる部分を持っていると考えられる。「ほどよい母親」とプレイセラピーにおけるセラピストの役割の類似性について述べなさい。(200字以内)

## 問 2 (臨床心理学 (心理検査))

パーソナリティのアセスメントに用いられる心理検査として質問紙法と投映法がある。これに関する以下の設問に答えなさい。

- (1) 質問紙法と投映法を対比させながら、以下の①～④について、それぞれの解答の先頭に番号を記載し、説明しなさい。(各問 150字以内)
  - ①それぞれの検査で与えられる課題の特徴。
  - ②それぞれの検査によって把握しようとする側面。
  - ③課題の自由度、およびアセスメントにおけるその意義。
  - ④集団法による実施の可能性とその理由。
- (2) パーソナリティのアセスメントに用いられる心理検査においては、被検査者の防衛がはたらくことがある。このような防衛は、どのような形で現れる可能性があるか、質問紙法と投映法を対比させながら述べなさい。(200字以内)

### 問 3 (心理学基礎)

[A] 以下の各問について、正しいと思うものを選択肢の中から 1 つ選びなさい。

(1) 心理アセスメントの説明として最も適切なものはどれか

1. 検査者は正確な検査を行う必要があるため、被検査者とは検査の教示以外は話さない。
2. 一般的に共通してみられる傾向を測る。
3. 複数の方法を組み合わせることで被検査者をより深く理解できる。
4. 1 回の検査では信頼性に欠けるため、同じ検査を複数回にわたって実施する。

(2) 以下の研究者名と業績の組合せとして、不適切なものはどれか。

1. Vygotsky, L.S. —内言・外言
2. Wertheimer, M. —エネルギー心理学
3. Thorndike, E.L. —効果の法則
4. Fisher, R.A. —分散分析

(3) 騒音による作業効率の低下を調べるため、大学生 60 人を 2 つのグループに分けた。

1 つのグループは騒音が聞こえる実験室で計算問題を、もう 1 つのグループは騒音が聞こえない実験室で計算問題を解いた。この場合、実験群は何か。

1. 60 人
2. 計算問題
3. 騒音が聞こえる実験室で計算問題を解いたグループ
4. 騒音が聞こえない実験室で計算問題を解いたグループ

(4) 般化に関する記述として、不適切なものはどれか。

1. 刺激般化は 2 つの刺激の類似性が大きいほど般化の量が大きくなり、類似性が少なくなるほど般化が少なくなるカーブを描く。
2. 1,000 Hz の音を各条件刺激として唾液条件づけを行った後、条件刺激と類似した 1,200 Hz の音を提示してテストをすると、1,200 Hz の音に対しても条件反応が生じる。
3. 幼児の自発的な「マンマ」という発話に対して親が注目したり反応したりする(強化)と、「マンマ」という発話が増えるだけでなく、それ以外の発話(たとえば、「プー」)も増え、発話全体が増加する。
4. 単語の視覚提示を条件刺激、ブザー音を無条件刺激として GSR の条件づけを行った後、発音はまったく異なるが意味的には類似した同義語や、正反対の意味を持つ対義語を提示してテストをすると、同義語に対してのみ条件反応が生じる。

(5) 記憶の区分にはいろいろあるが、記憶内容に記銘した際の時間や場所等の情報を含んでいるか否かによって区分されているのはどれか。

1. 回想記憶と展望記憶
2. エピソード記憶と意味記憶
3. 顕在記憶と潜在記憶
4. 短期記憶と長期記憶

(6) 隣のホームの列車が動き出すと、とまっているはずの自分の乗った列車が動き出したように知覚されてしまうことがある。この知覚現象の名称として、もっとも適切なものはどれか。

1. 誘導運動
2. 運動残効
3.  $\beta$ 運動
4. 自動運動

(7) 馴化と脱馴化の説明として、不適切なものはどれか

1. 繰り返し、あるいは長期にわたって提示された刺激に対し、当初は生じていた反応が生じにくくなることを馴化という。
2. 馴化によって弱められていた反応が元に戻ることを、脱馴化という。
3. 馴化—脱馴化の方法を用いることで、言葉を話せない乳幼児や動物の刺激弁別の有無を調べることができる。
4. 馴化—脱馴化は心拍や皮膚体温などの生理的指標によってのみ測定される。

(8) Vygotsky, L.S. の社会文化理論と関連する項目として、もっとも適切なものはどれか。

1. 認知的不協和理論
2. 自我境界
3. 発達の最近接領域
4. S-R 理論

(9) エリクソンの発達段階において「同一性 vs. 同一性拡散」のすぐ次に想定される段階はどれか。

1. 統合性 vs. 絶望
2. 親密性 vs. 孤立
3. 勤勉性 vs. 劣等感
4. 信頼 vs. 不信

(10) 感情が意思決定に影響を与える仕組みとして、危険などに直面したときに身体に起こる反応を脳に伝える信号をソマティック・マーカーと呼んだのは誰か。

1. Damasio, A.R.
2. Izard, C.E.
3. Schachter, S.
4. Ekman, P.

(11) リスク・コミュニケーションに関するア～オの記述で適切なものには○、不適切なものには×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものはどれか。

リスク・コミュニケーションの代表的な定義は、National Research Council (1989) の(ア)「人、機関、集団間での情報や意見のやりとりの相互作用過程」で、対象となるリスクとして(イ)化学物質やアレルギー物質、(ウ)原子力分野や自然災害、(エ)いじめ、虐待、DVなどがあげられる。(オ)リスク・コミュニケーション状況としては個人的選択 (personal choice) の状況と社会的論争 (public debate) の状況を分けておくことが重要である。

1. ア× イ○ ウ× エ× オ○
2. ア○ イ× ウ○ エ× オ○
3. ア× イ○ ウ× エ○ オ×
4. ア○ イ○ ウ○ エ× オ○

(12) パーソナリティに関する用語とそれに関連の深い人物の対応として、不適切なものはどれか。

1. 類型論—Kretschmer, E.
2. 特性論—Eysenck, H.J.
3. BIS/BAS—Krahe, B.
4. 一貫性論争—Mischel, W.

(13) 食事や着替え、トイレ、移動などの日常生活に不可欠な基本的行動を示す略語として適切なものはどれか。

1. ADL
2. QOL
3. ASD
4. SCT

(14) 特別支援教育の説明として適切なものはどれか。

1. 特別支援教育は、特別支援学校や特別支援学級に在籍している生徒を対象にしている。
2. 特別支援教育では一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行うため「個別の教育支援計画」を作成する。
3. 特別支援学校は単一の障害種別（例えば肢体不自由や視覚障害）毎に設置されなければならない。
4. 高等学校では、特別支援教育を行うことはない。

(15) トークンエコノミーの説明としてもっとも適切なものはどれか。

1. ほめ言葉やご褒美の代わりに、コインやシールなどを強化子として与えることである。
2. ほめ言葉やご褒美と併用して、コインやシールなどを強化子として与えることである。
3. 適切な行動に対して、コインやシールが強化子として与えられ、コインやシールは複数の他の強化子と交換可能である。
4. 適切な行動に対して、コインやシールが強化子として与えられ、コインやシールは複数の他の強化子と交換可能である。さらに不適切な行動に対しては、コインやシールが没収されるシステムである。

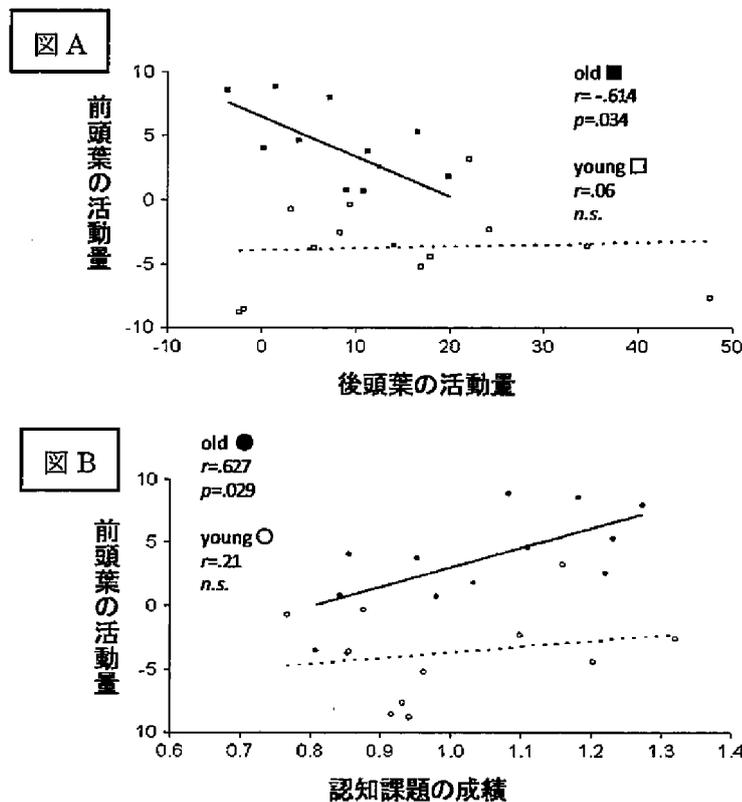
[B] 以下の用語の中から任意の5個を選択し、それぞれ50～100字で意味をわかりやすく説明しなさい。解答欄の【 】に選択した用語を記入しなさい。順番は問わない。

- ・ 質的研究
- ・ (心理学研究における) インフォームドコンセント
- ・ 半側空間無視
- ・ ワーキングメモリ
- ・ 吸啜(きゅうてつ)反射
- ・ ソシオグラム
- ・ 心理的リアクタンス
- ・ ステレオタイプ
- ・ 認知行動療法
- ・ セルフエフィカシー(自己効力感)

## 問 4 (心理学)

以下の文章を読んで設問に答えなさい。

大学生と高齢者各 12 名を対象として、認知課題を実施したときの脳の活動量を見た実験研究がある。下記の図 A (上図) は認知課題実施時の、前頭葉と後頭葉の活動量の関係を示した散布図と回帰直線である。■が高齢者、□が大学生の分布を、直線が高齢者、点線が大学生の回帰直線を示している。図 B (下図) は前頭葉の活動量と認知課題の成績との関係を見た散布図である。●が高齢者、○が大学生の分布を、直線が高齢者、点線が大学生の回帰直線を示している。なお、高齢者は、認知課題の成績において、大学生とほぼ同じ成績をとった者のみを分析対象とした。この結果をふまえ、下の各問に答えなさい。



(注) 活動量は数値が大きくなるほど、活性化したことを意味し、認知課題の成績は数値が大きくなるほど、高い成績であったことを意味する。数値はいずれも標準化されたものであり単位はない。なお、図中の統計量は、相関係数と有意性検定の結果(危険率)を示している。

(出典)

Simon W. Davis Nancy A. Dennis Sander M. Daselaar Mathias S. Fleck Roberto Cabeza,  
*Qué PASA? The Posterior-Anterior Shift in Aging, from Cerebral Cortex, May 1, 2008, Figure 3.*  
 Reproduced with permission of Oxford University Press. (一部改変)

- (1) 図 A の結果はどんなことを示しているだろうか。図中に示されている統計量を参考にし、図が表している実験結果をことばで説明しなさい。(200 字以内)

- (2) 図 B の結果はどんなことを示しているだろうか。図中に示されている統計量を参考にして、図が表している実験結果をことばで説明しなさい。(200 字以内)
- (3) 図 A と図 B の結果を総合的に解釈すると、どのようなことが考えられるか。あなたの考えを述べなさい。(200 字以内)
- (4) この実験の問題点や限界を考え、それを踏まえて、あなたなら次に、どのような実験や調査を行うか。その研究の目的と方法を説明しなさい。(200 字以内)

## 問 5 (心理学研究法)

以下の文章を読んで設問に答えなさい。

Aさんは、青年期のパーソナリティと友人との同調行動との関連性についての調査研究を行った。

まず、友人との同調行動を測定するための評定尺度を作成した(研究Ⅰ)。研究Ⅰの具体的な手順は、次のとおりである。独自に友人との同調行動に関する30項目を考え出し、高校生200名(男女各100名)、大学生200名(男女各100名)を対象に同項目(5段階評定)からなる質問紙調査を実施した。回収された400名分をデータをあわせて因子分析を行い、3因子(それぞれ10項目ずつ)が抽出された。

Aさんはそれに引き続いて、パーソナリティを測定する尺度と上記の尺度との関連性を調べるための調査を行った(研究Ⅱ)。

上記のような研究の進め方について以下の設問に答えなさい。

- (1) 研究Ⅰの友人との同調行動を測定する尺度作成までのAさんの手続きにはどんな問題点があったか。また、そのような問題点が生じないようにするにはどんな手続きが必要だったか。上記について、「構成概念」「先行研究」「項目の選定」というキーワードを用いながら説明しなさい。ただし、キーワードを用いる順序や回数に制限はない。(400字以内)
- (2) Aさんは、研究Ⅱに進む前に行うべき重要な手続きを行っていない。それについて、「項目分析」「信頼性」「妥当性」というキーワードを用いながら説明しなさい。ただし、キーワードを用いる順序や回数に制限はない。(400字以内)

## 問 6 (教育学)

以下の文章は、ある人が相模原市障害者殺傷事件<sup>(注)</sup>を受けてSNSに投稿した文章を、新聞が掲載した際、投稿者宛に届けられたハガキに関するものである。なお、投稿者は自閉症の子どもを持つ放送記者である。これを読み、以下の各問に答えなさい。

(注) 2016年7月26日に神奈川県相模原市で起きた事件で、知的障害者福祉施設に元施設職員の男性が侵入し、多数の知的障害者を殺傷した。加害者が障害者は社会にとって不要な存在だと言ったことで知られている。

青の万年筆で、細かな字がみっちり書き込まれたハガキが、福岡市のわたしの会社宛に届いた。消印は、神奈川県綾瀬市の郵便局で2016年8月15日に投函されたことを示していた。事件が起きた相模原市とはそれほど離れていない。朝日新聞神奈川版で私の書いた文章を掲載した三日後のことである。

8/12付朝日新聞を読みました。障害者の家族はいつでも「いずれ誰でも障害を負う」と後々障害を持った人と生まれつきの障害者を同一視しますネ。

でも元気に生まれた人は皆ある一定の期間、社会に充分貢献してから障害を負うのです。まったく貢献もせず、生まれた瞬間から社会の助けを受け生き続け社会に負担を与え続けているあなたの子どものような人とは違うのです。

私はあなたの、その様な開き直った様な考え方が大嫌いです。障害者の親はいつも権利ばかりを主張しています。何故「社会に貢献できない子供でも、助けてもらってばかりで申し訳ない！」と一言謝らないのですか！？

きちんと一言、謝ってから権利や自分のこどもにもたくさんの価値がある・・・などと述べて下さい。権利ばかり主張しているから本当に腹が立ちます。もっと社会のお荷物である事を自覚して下さい。充分謝ってから言いたいことを述べて下さい。

出典：神戸金史 (2016)。「障害を持つ息子へ ～息子よ。そのまま、いい～」 ブックマン社

(1) 上で紹介されている意見に対して、障害者を持つ家族の立場からはどのような反論があり得るだろうか。あなたが障害者の家族であると仮定して、上で紹介されている意見に対して反論を述べなさい。(400字以内)

- (2) ハガキに書かれているような意見を持つ人が現実に存在していることをふまえながら、障害者のインクルーシブ教育についてあなたの考えるところを述べなさい。(どのような意見を述べるかは問わず、筋道を立てて自説を述べられるかどうかを評価する。)(400字以内)

## 問 7 (社会福祉学)

以下の文章を読んで設問に答えなさい。

ソーシャルワークの実践モデル, つまりクライアントのかかえる問題のとらえ方のひとつとして, Germain, C.B. らの提唱した「生活モデル」(life model)がある。この理論は, 生態学な視点を応用したものと言われるが, この「生活モデル」について, 以下の各問に答えなさい。

- (1) 「生活モデル」におけるクライアントのかかえる問題のとらえ方の特徴について, 説明しなさい。(150字以内)
  
- (2) 仮に「不登校の男子中学生 Aくん」がいたとします。Aくんへの支援を例として, 「生活モデル」を用いて行うソーシャルワークを具体的に説明しなさい。(650字以内)

## 問 8 (社会学)

以下の文章を読んで設問に答えなさい。

社会学では、マクロ的アプローチを代表する現代社会論とミクロ的アプローチを代表する相互作用論がある。こうした二つの視点をあわせもつ社会学は、対人援助や臨床実践の研究にどのように貢献しようとするか。具体的な社会病理や社会問題を想定して記述しなさい。(800字以内)

問題は回収します

2018 年度

立命館大学

人間科学研究科入学試験問題

(2017 年 9 月 24 日実施)

博士課程前期課程

**「対人援助学領域」・専門基礎**

<全入試方式共通>

<1 時限目 90 分>

問 1～6 の中から 2 問を選び解答しなさい。

3 問以上解答した場合は、すべてを採点対象としない。

問 1 : 心理学基礎, 問 2 : 心理学, 問 3 : 心理学研究法, 問 4 : 教育学, 問 5 :  
社会福祉学, 問 6 : 社会学

※解答する問の解答用紙には、すべてに受験番号と氏名を記入しなさい。

## 問 1 (心理学基礎)

[A] 以下の各問について、正しいと思うものを選択肢の中から1つ選びなさい。

- (1) 交絡因子の関与が最も少ないと期待できるのは、以下のうちどれか。
1. 医師が自由に選択した胆石の2つの処置法とその治癒率の違い
  2. 大学全学部の合計受験者の男女間の入試通過率の違い
  3. コーヒーの摂取量と心筋梗塞の発生率の関係
  4. 暴力映像視聴群と非視聴群の間の視聴後暴力発生率の違い
- (2) 半構造化面接の説明として最も適切なものはどれか。
1. 被面接者の問題点や状態像、家族歴、生育歴などの事例史を収集するための面接法
  2. 被面接者の語る内容や感情、思考、行動などに焦点を当ててフィードバックを与える面接法
  3. 被面接者の状況や回答に応じて、事前に想定した質問の表現、順序、内容などを変える面接法
  4. 必要な情報を一定の基準で得るために設定された質問項目にしたがって行う面接法
- (3) 世界最初の心理学実験室が設置されたのはどこか。
1. オーストリアのウィーン大学
  2. アメリカのハーバード大学
  3. ドイツのライプツィヒ大学
  4. ドイツのヴュルツブルク大学
- (4) 次の文中 A~C にあてはまる用語の組み合わせとして、最も妥当なものはどれか。  
実験参加者に10~50語ほどのリストから一つずつ単語を呈示して覚えてもらい、覚えた語を思い出した順に再生してもらう (A) 再生テストを行うと、短期記憶からの読み出しによって再生率が高くなる (B) 効果と、長期記憶への定着によって再生率が高くなる (C) 効果が観察される。
1. A:自由 B:新近 C:初頭
  2. A:系列 B:新近 C:初頭
  3. A:自由 B:初頭 C:新近
  4. A:系列 B:初頭 C:新近

(5) たとえば、「カラスは尿酸結晶を分泌する」という事実に基づく知識から、「鳥類は尿酸結晶を分泌する」のではないかと考えるタイプの推論を何というか。

1. 非単調推論
2. アブダクション
3. 帰納的推論
4. 演繹的推論

(6) 一度ある刺激に注意が向けられると、数百ミリ秒の間、他の刺激を認識することが困難になることが、高速逐次視覚呈示法などによって明らかにされているが、この現象を何というか。

1. 負のプライミング
2. 注意の瞬き
3. 非注意による見落とし（あるいは、非注意盲）
4. 変化の見落とし（あるいは、変化盲）

(7) Vygotsky, L. S. の Piaget, J. への批判に関する以下の文章で、空欄 A・B に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれか。

Vygotsky, L. S. の批判は、4,5 歳頃に出現する独り言の解釈に向けられた。Piaget, J. は、自己中心性の現れであると解釈したが、Vygotsky, L. S. はこれが他者伝達と自己内伝達（思考）の両面の役割を持つとし、( A )と呼んだ。( A )が音声を失い、( B )になると主張した。

1. A: 初語      B: 内言
2. A: 初語      B: 母語
3. A: 外言      B: 内言
4. A: 外言      B: 母語

(8) 青年期に関する用語とそれに関連の深い人物との対応として、適切な組み合わせはどれか。

1. 自我同一性—James, W.
2. 学習性無力感—Erikson, E. H.
3. 集団的思考—Levin, K.
4. 疾風怒濤—Hall, G. S.

(9) 認知方略の発達について説明した以下の文章の空欄 A～C に、当てはまる組み合わせとして、最も正しいものはどれか。

( A ) は、発達の過程で、教示されれば有効な認知方略 (リハーサルや体制化など) を使用できるにもかかわらず、自発的にはそれを使用しない時期があることを見だし、この現象を ( B ) と名づけた。他方で、認知方略を持っていないために教示しても使わない現象は ( C ) と呼ばれる。

1. A: Bruner, J.      B: 産出欠如      C: 媒介欠如
2. A: Bruner, J.      B: 媒介欠如      C: 産出欠如
3. A: Flavell, J.      B: 産出欠如      C: 媒介欠如
4. A: Flavell, J.      B: 媒介欠如      C: 産出欠如

(10) 個人に対して何らかの処遇や配分を決める場面において、下される配分の結果が他者と等しいだけでなく、その配分を決定する仕組みや制度の正しさについての適切さの知覚を何と呼ぶか。

1. 分配的公正
2. 応報的公正
3. 相対的剥奪
4. 手続き的公正

(11) Rosenberg, M. の提唱した自尊心 (self-esteem) について、日常場面で発生する様々な出来事を受けて揺れ動き変動する性質をもつ自尊心として適切なものは以下のうちのどれか。

1. 状態自尊心
2. 特性自尊心
3. 顕在的自尊心
4. 潜在的自尊心

(12) パーソナリティ研究において、「行動遺伝学の三法則」に当てはまらないものはどれか。

1. 共有環境の影響は概して小さい
2. 心理・行動的特徴では非共有環境の影響が大きい
3. 心理的特徴については、共有環境の影響が非共有環境の影響より大きい
4. 身体的特徴のみならず、知能やさまざまなパーソナリティなどの心理・行動的特徴にある程度の遺伝の影響がある。

(13) DSM-5において、PTSDを診断するうえで必須の症状とされていないものは以下のうちどれか。

1. 持続的な回避
2. 解離症状
3. 侵入症状
4. 認知と気分の陰性変化

(14) 患者の主観的な体験を重視し、詳細な観察に基づき、統合失調症と判断するにたる症状を「一級症状」と名づけたのは誰か。

1. Bleuler, E.
2. Kraepelin, E.
3. Freud, S.
4. Schneider, K.

(15) 自殺に関するア～オの記述で適切なものには○、不適切なものには×を付けた場合、その組み合わせとして正しいものはどれか。

(ア) 自殺予防の3段階とは、「プリベンション」「インターベンション」「ポストベンション」である。(イ) ゲートキーパーになるためには、専門的な訓練が不可欠である。

(ウ) マスメディアの自殺報道に影響されて、似たような自殺が生じる現象を「ウェルテル効果」という。(エ) 自殺すると口に出す人は、ほぼその行為(自殺)に至らない。(オ) 遺族へのケアは、自殺予防の概念に含まれない。

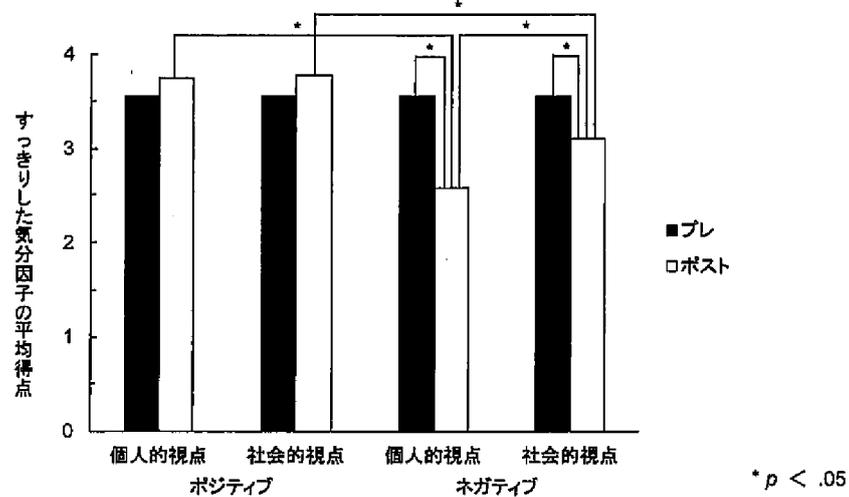
1. ア：○      イ：○      ウ：○      エ：×      オ：○
2. ア：×      イ：×      ウ：○      エ：×      オ：○
3. ア：○      イ：×      ウ：○      エ：×      オ：×
4. ア：×      イ：○      ウ：×      エ：○      オ：×

[B] 以下の用語の中から任意の5個を選択し、それぞれ50～100字で意味をわかりやすく説明しなさい。解答欄の【 】に選択した用語を記入しなさい。順番は問わない。

- ・独立変数と従属変数
- ・参与観察法
- ・(記憶における)処理水準
- ・視交叉
- ・概念地図法
- ・内発的動機づけ
- ・認知的不協和理論
- ・基本的原因帰属の錯誤
- ・転移と逆転移
- ・自閉症スペクトラム障害

## 問 2 (心理学)

短文の詩を読むことによる気晴らしの効果に着目し、一般の大学生を対象に検討を行った実験研究がある。参加者は気晴らしに関する質問紙に回答し、2分間詩を黙読した後、再び同じ内容の質問紙に回答した。下記の図は、「すっきりした気分」(嫌な気分が紛れることや爽快な気分)について、2(詩の種類: ポジティブな感情を生起させる内容, ネガティブな感情を生起させる内容) × 2(詩の視点<sup>注</sup>): 個人的, 社会的) × 2(測定時期: プレ, ポスト)の3要因実験参加者内分散分析を実施した結果である。図の数値は大きいほど、「すっきりした気分」が強い状態を意味する。この結果をふまえ、以下の各問に答えなさい。



(注) 「個人的視点」とは、たとえば存在することそれ自体の素晴らしさを詠った内容で、自己完結的な方向性を示す。

「社会的視点」とは、たとえば空虚な喪失感を詠った内容で、自己だけではなく他の生命も含む方向性を示す。

(出典) 森田晴香・菅村玄二 (2014). 詩の黙読が感情状態と気晴らしに与える効果 心理学研究, 85, 437-444. (一部改変)

(1) 本実験において、読詩による気晴らしの効果は認められたといえるだろうか。結果から読み取れることを説明しなさい。(400字以内)

(2) この実験の問題点や限界をふまえると、あなたならばどのような実験または調査を行うだろうか。研究計画について説明しなさい。(400字以内)

### 問 3 (心理学研究法)

大学生を対象として、睡眠時間と主観的幸福感の関係を検討した調査があったと仮定する。大学生 200 人から、昨日の睡眠時間を聴取し、さらに、今の幸福感の程度を 5 段階で聞いた(「全く幸せではない」の 1 点から「たいへん幸せである」の 5 点で評定させた)。その結果、睡眠時間と主観的幸福感の間に有意な相関が確認されたとする。このことから、主観的幸福感を高めるには、睡眠時間を確保することが重要である、という結論を研究者は導いた。この架空の調査には心理学研究法上、いくつかの問題点がある。問題点について以下の各問に答えなさい。

- (1) この調査での睡眠時間のデータの取り方について、「信頼性」という観点から、さらに主観的幸福感のデータの取り方について、「妥当性」という観点から、問題点を説明しなさい。(200 字以内)
- (2) (1) で指摘した「信頼性」「妥当性」の問題について、それを修正するにはどのような工夫が必要かを説明しなさい。(200 字以内)
- (3) 統計上「有意な相関」がみられたとは、どのような意味を指すのかを具体的に説明しなさい。(200 字以内)
- (4) この調査では、「主観的幸福感を高めるためには睡眠時間を確保することが重要である」という結論に至っている。この結論はどこに問題があるのかを具体的に説明しなさい。(200 字以内)

#### 問 4 (教育学)

下記の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

近年、休職や退職に追い込まれている教員が増加している。文部科学省が毎年行なう全国調査によると、うつ病など精神疾患による病気で休職した小学校・中学校・高等学校等公立学校の教員数は病気休職者の 60%を越えている。文部科学省の委託で行なわれている教員勤務実態調査によれば、全国の公立小学校・中学校教員の 70%以上が「保護者や地域住民への対応が増した」と感じており、その結果「授業の準備時間が足りない」と支障を訴える教員も小学校・中学校ともに 70%以上という結果が出た。

(多賀幹子 2008 「親たちの暴走 日米英のモンスターペアレント」 あさひ新書)

- (1) 教員の精神疾患意による休職者数を減少させるための対策としては、どのようなことが考えられるか、あなたの考えを述べなさい。(400 字以内)
  
- (2) 教員が対応に苦慮する保護者は「モンスターペアレント」と呼ばれることがある。「モンスターペアレント」がもつ問題について、教育学的観点からあなたの考えを述べなさい。(400 字以内)

## 問 5 (社会福祉学)

下記の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

クライアントのニーズ充足や、彼らがかかえる課題の解決・緩和を図ろうとするソーシャルワーク実践では、単に相談にのるということにとどまらず、具体的な援助を実施するため、「社会資源」をコーディネートすることが非常に重要だとされている。

- (1) 「社会資源」とはどのようなものか、具体例をあげて説明しなさい。(200字以内)
  
- (2) 「独居の高齢者Aさんは、最近買い物ができなくなり困っている」という事例において、「社会資源」をコーディネートするとは例えばどうすることか、具体的に記述しなさい。(600字以内)

## 問 6 (社会学)

下記の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

Putnam, R. D. (2015) は、過去 50 年にわたる先進 8 ヶ国 (イギリス、アメリカ、フランス、ドイツ、スペイン、スウェーデン、オーストラリア、日本) における社会関係資本の変化を比較することにより、日本だけが他の国々と異なっていると指摘し、次のように述べている。

・・・猪口が描く日本の社会関係資本はこの本に収められた他の国々の様子ときわめて異なつたままである。例えば、他のすべての国では、市民的関与や社会的な繋がりは、社会経済的な地位と密接に結びついており、そして実際、この社会関係資本の分布における不平等は拡大しつつあるようだ。これに対して、日本では、社会参加は実際に教育レベルの低い層でより高い、と報告している。

(出典)

ロバート・D・パットナム (著), 猪口 孝 (訳), 流動化する民主主義, pp.334-335, ミネルヴァ書房, 2013年

Robert D. Putnam, *Democracies in Flux*, p.398, ©2002 by Oxford university Press, Inc. By permission of Oxford University Press, USA

- (1) 下線が付された日本の現状の報告についてあなたはどのように考えるか述べなさい。  
(400字以内)
- (2) 下線部分の指摘をふまえると、日本において、対人援助職者が援助活動を実践する際に留意すべきこととしてどのようなものがあると思うか、あなたの考えを述べなさい。  
(400字以内)

問題は回収します

2018 年度

立命館大学  
人間科学研究科入学試験問題

(2018 年 2 月 11 日実施)

博士課程前期課程

「対人援助学領域」専門基礎

<全入試方式共通>

<1 時限目 90 分>

問 1～6 の中から 2 問を選び解答しなさい。

3 問以上解答した場合は、すべてを採点対象としない。

問 1：心理学基礎、問 2：心理学、問 3：心理学研究法、問 4：教育学、問 5：  
社会福祉学、問 6：社会学

※解答する問の解答用紙には、すべてに受験番号と氏名を記入しなさい。

## 問 1 (心理学基礎)

[A] 以下の各問について、正しいと思うものを選択肢の中から1つ選びなさい。

(1) 心理アセスメントの説明として最も適切なものはどれか

1. 検査者は正確な検査を行う必要があるため、被検査者とは検査の教示以外は話さない。
2. 一般的に共通してみられる傾向を測る。
3. 複数の方法を組み合わせることで被検査者をより深く理解できる。
4. 1回の検査では信頼性に欠けるため、同じ検査を複数回にわたって実施する。

(2) 以下の研究者名と業績の組合せとして、不適切なものはどれか。

1. Vygotsky, L.S. —内言・外言
2. Wertheimer, M. —エネルギー心理学
3. Thorndike, E.L. —効果の法則
4. Fisher, R.A. —分散分析

(3) 騒音による作業効率の低下を調べるため、大学生 60 人を2つのグループに分けた。

1つのグループは騒音が聞こえる実験室で計算問題を、もう1つのグループは騒音が聞こえない実験室で計算問題を解いた。この場合、実験群は何か。

1. 60 人
2. 計算問題
3. 騒音が聞こえる実験室で計算問題を解いたグループ
4. 騒音が聞こえない実験室で計算問題を解いたグループ

(4) 一般化に関する記述として、不適切なものはどれか。

1. 刺激一般化は2つの刺激の類似性が大きいほど一般化の量が大きくなり、類似性が少なくなるほど一般化が少なくなるカーブを描く。
2. 1,000 Hz の音を各条件刺激として唾液条件づけを行った後、条件刺激と類似した 1,200 Hz の音を提示してテストをすると、1,200 Hz の音に対しても条件反応が生じる。
3. 幼児の自発的な「マンマ」という発話に対して親が注目したり反応したりする(強化)と、「マンマ」という発話が増えるだけでなく、それ以外の発話(たとえば、「プー」)も増え、発話全体が増加する。
4. 単語の視覚提示を条件刺激、ブザー音を無条件刺激として GSR の条件づけを行った後、発音はまったく異なるが意味的には類似した同義語や、正反対の意味を持つ対義語を提示してテストをすると、同義語に対してのみ条件反応が生じる。

(5) 記憶の区分にはいろいろあるが、記憶内容に記銘した際の時間や場所等の情報を含んでいるか否かによって区分されているのはどれか。

1. 回想記憶と展望記憶
2. エピソード記憶と意味記憶
3. 顕在記憶と潜在記憶
4. 短期記憶と長期記憶

(6) 隣のホームの列車が動き出すと、とまっているはずの自分の乗った列車が動き出したように知覚されてしまうことがある。この知覚現象の名称として、もっとも適切なものはどれか。

1. 誘導運動
2. 運動残効
3.  $\beta$  運動
4. 自動運動

(7) 馴化と脱馴化の説明として、不適切なものはどれか

1. 繰り返し、あるいは長期にわたって提示された刺激に対し、当初は生じていた反応が生じにくくなることを馴化という。
2. 馴化によって弱められていた反応が元に戻ることを、脱馴化という。
3. 馴化—脱馴化の方法を用いることで、言葉を話せない乳幼児や動物の刺激弁別の有無を調べることができる。
4. 馴化—脱馴化は心拍や皮膚体温などの生理的指標によってのみ測定される。

(8) Vygotsky, L.S. の社会文化理論と関連する項目として、もっとも適切なものはどれか。

1. 認知的不協和理論
2. 自我境界
3. 発達の最近接領域
4. S-R 理論

(9) エリクソンの発達段階において「同一性 vs. 同一性拡散」のすぐ次に想定される段階はどれか。

1. 統合性 vs. 絶望
2. 親密性 vs. 孤立
3. 勤勉性 vs. 劣等感
4. 信頼 vs. 不信

(10) 感情が意思決定に影響を与える仕組みとして、危険などに直面したときに身体に起こる反応を脳に伝える信号をソマティック・マーカーと呼んだのは誰か。

1. Damasio, A.R.
2. Izard, C.E.
3. Schachter, S.
4. Ekman, P.

(11) リスク・コミュニケーションに関するア～オの記述で適切なものには○、不適切なものには×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものはどれか。

リスク・コミュニケーションの代表的な定義は、National Research Council (1989) の(ア)「人、機関、集団間での情報や意見のやりとりの相互作用過程」で、対象となるリスクとして(イ)化学物質やアレルギー物質、(ウ)原子力分野や自然災害、(エ)いじめ、虐待、DVなどがあげられる。(オ)リスク・コミュニケーション状況としては個人的選択 (personal choice) の状況と社会的論争 (public debate) の状況を分けておくことが重要である。

1. ア× イ○ ウ× エ× オ○
2. ア○ イ× ウ○ エ× オ○
3. ア× イ○ ウ× エ○ オ×
4. ア○ イ○ ウ○ エ× オ○

(12) パーソナリティに関する用語とそれに関連の深い人物の対応として、不適切なものはどれか。

1. 類型論—Kretschmer, E.
2. 特性論—Eysenck, H.J.
3. BIS/BAS—Krahe, B.
4. 一貫性論争—Mischel, W.

(13) 食事や着替え、トイレ、移動などの日常生活に不可欠な基本的行動を示す略語として適切なものはどれか。

1. ADL
2. QOL
3. ASD
4. SCT

(14) 特別支援教育の説明として適切なものはどれか。

1. 特別支援教育は、特別支援学校や特別支援学級に在籍している生徒を対象にしている。
2. 特別支援教育では一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行うため「個別の教育支援計画」を作成する。
3. 特別支援学校は単一の障害種別（例えば肢体不自由や視覚障害）毎に設置されなければならない。
4. 高等学校では、特別支援教育を行うことはない。

(15) トークンエコノミーの説明としてもっとも適切なものはどれか。

1. ほめ言葉やご褒美の代わりに、コインやシールなどを強化子として与えることである。
2. ほめ言葉やご褒美と併用して、コインやシールなどを強化子として与えることである。
3. 適切な行動に対して、コインやシールが強化子として与えられ、コインやシールは複数の他の強化子と交換可能である。
4. 適切な行動に対して、コインやシールが強化子として与えられ、コインやシールは複数の他の強化子と交換可能である。さらに不適切な行動に対しては、コインやシールが没収されるシステムである。

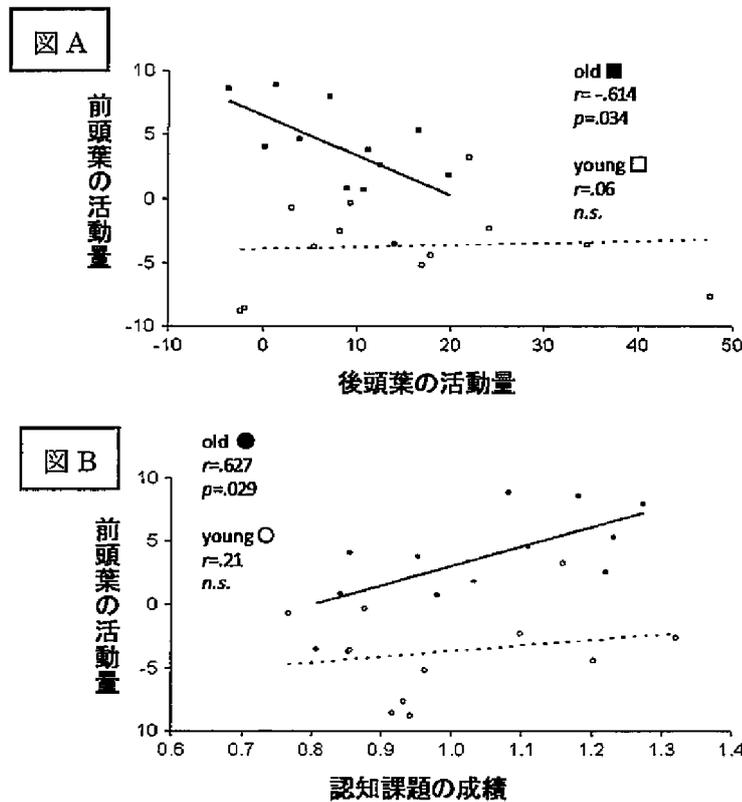
[B] 以下の用語の中から任意の5個を選択し、それぞれ50～100字で意味をわかりやすく説明しなさい。解答欄の【 】に選択した用語を記入しなさい。順番は問わない。

- ・ 質的研究
- ・ (心理学研究における) インフォームドコンセント
- ・ 半側空間無視
- ・ ワーキングメモリ
- ・ 吸啜(きゅうてつ)反射
- ・ ソシオグラム
- ・ 心理的リアクタンス
- ・ ステレオタイプ
- ・ 認知行動療法
- ・ セルフエフィカシー(自己効力感)

## 問 2 (心理学)

以下の文章を読んで設問に答えなさい。

大学生と高齢者各 12 名を対象として、認知課題を実施したときの脳の活動量を見た実験研究がある。下記の図 A (上図) は認知課題実施時の、前頭葉と後頭葉の活動量の関係を示した散布図と回帰直線である。■が高齢者、□が大学生の分布を、直線が高齢者、点線が大学生の回帰直線を示している。図 B (下図) は前頭葉の活動量と認知課題の成績との関係を見た散布図である。●が高齢者、○が大学生の分布を、直線が高齢者、点線が大学生の回帰直線を示している。なお、高齢者は、認知課題の成績において、大学生とほぼ同じ成績をとった者のみを分析対象とした。この結果をふまえ、下の各問に答えなさい。



(注) 活動量は数値が大きくなるほど、活性化したことを意味し、認知課題の成績は数値が大きくなるほど、高い成績であったことを意味する。数値はいずれも標準化されたものであり単位はない。なお、図中の統計量は、相関係数と有意性検定の結果(危険率)を示している。

(出典)

Simon W. Davis Nancy A. Dennis Sander M. Daselaar Mathias S. Fleck Roberto Cabeza, *Qué PASA? The Posterior-Anterior Shift in Aging, from Cerebral Cortex, May 1, 2008, Figure 3.* Reproduced with permission of Oxford University Press. (一部改変)

- (1) 図 A の結果はどんなことを示しているだろうか。図中に示されている統計量を参考にし、図が表している実験結果をことばで説明しなさい。(200 字以内)

- (2) 図 B の結果はどんなことを示しているだろうか。図中に示されている統計量を参考にして、図が表している実験結果をことばで説明しなさい。(200 字以内)
- (3) 図 A と図 B の結果を総合的に解釈すると、どのようなことが考えられるか。あなたの考えを述べなさい。(200 字以内)
- (4) この実験の問題点や限界を考え、それを踏まえて、あなたなら次に、どのような実験や調査を行うか。その研究の目的と方法を説明しなさい。(200 字以内)

### 問 3 (心理学研究法)

以下の文章を読んで設問に答えなさい。

Aさんは、青年期のパーソナリティと友人との同調行動との関連性についての調査研究を行った。

まず、友人との同調行動を測定するための評定尺度を作成した(研究Ⅰ)。研究Ⅰの具体的な手順は、次のとおりである。独自に友人との同調行動に関する30項目を考え出し、高校生200名(男女各100名)、大学生200名(男女各100名)を対象に同項目(5段階評定)からなる質問紙調査を実施した。回収された400名分をデータをあわせて因子分析を行い、3因子(それぞれ10項目ずつ)が抽出された。

Aさんはそれに引き続いて、パーソナリティを測定する尺度と上記の尺度との関連性を調べるための調査を行った(研究Ⅱ)。

上記のような研究の進め方について以下の設問に答えなさい。

- (1) 研究Ⅰの友人との同調行動を測定する尺度作成までのAさんの手続きにはどんな問題点があったか。また、そのような問題点が生じないようにするにはどんな手続きが必要だったか。上記について、「構成概念」「先行研究」「項目の選定」というキーワードを用いながら説明しなさい。ただし、キーワードを用いる順序や回数に制限はない。(400字以内)
- (2) Aさんは、研究Ⅱに進む前に行うべき重要な手続きを行っていない。それについて、「項目分析」「信頼性」「妥当性」というキーワードを用いながら説明しなさい。ただし、キーワードを用いる順序や回数に制限はない。(400字以内)

#### 問 4 (教育学)

以下の文章は、ある人が相模原市障害者殺傷事件<sup>(注)</sup>を受けてSNSに投稿した文章を、新聞が掲載した際、投稿者宛に届けられたハガキに関するものである。なお、投稿者は自閉症の子どもを持つ放送記者である。これを読み、以下の各問に答えなさい。

(注) 2016年7月26日に神奈川県相模原市で起きた事件で、知的障害者福祉施設に元施設職員の男性が侵入し、多数の知的障害者を殺傷した。加害者が障害者は社会にとって不要な存在だと言ったことで知られている。

青の万年筆で、細かな字がみっちり書き込まれたハガキが、福岡市のわたしの会社宛に届いた。消印は、神奈川県綾瀬市の郵便局で2016年8月15日に投函されたことを示していた。事件が起きた相模原市とはそれほど離れていない。朝日新聞神奈川版で私の書いた文章を掲載した三日後のことである。

8/12付朝日新聞を読みました。障害者の家族はいつでも「いずれ誰でも障害を負う」と後々障害を持った人と生まれつきの障害者を同一視しますネ。

でも元気に生まれた人は皆ある一定の期間、社会に充分貢献してから障害を負うのです。まったく貢献もせず、生まれた瞬間から社会の助けを受け生き続け社会に負担を与え続けているあなたの子どものような人とは違うのです。

私はあなたの、その様な開き直った様な考え方が大嫌いです。障害者の親はいつも権利ばかりを主張しています。何故「社会に貢献できない子供でも、助けてもらってばかりで申し訳ない！」と一言謝らないのですか！？

きちんと一言、謝ってから権利や自分のこどもにもたくさんの価値がある・・・などと述べて下さい。権利ばかり主張しているから本当に腹が立ちます。もっと社会のお荷物である事を自覚して下さい。充分謝ってから言いたいことを述べて下さい。

出典：神戸金史 (2016) .「障害を持つ息子へ ～息子よ。そのまま、いい～」 ブックマン社

- (1) 上で紹介されている意見に対して、障害者を持つ家族の立場からはどのような反論があり得るだろうか。あなたが障害者の家族であると仮定して、上で紹介されている意見に対して反論を述べなさい。(400字以内)

(2) ハガキに書かれているような意見を持つ人が現実に存在していることをふまえながら、障害者のインクルーシブ教育についてあなたの考えるところを述べなさい。(どのような意見を述べるかは問わず、筋道を立てて自説を述べられるかどうかを評価する。)(400字以内)

## 問 5 (社会福祉学)

以下の文章を読んで設問に答えなさい。

ソーシャルワークの実践モデル, つまりクライアントのかかえる問題のとらえ方のひとつとして, Germain, C.B. らの提唱した「生活モデル」 (life model) がある。この理論は, 生態学な視点を応用したものと言われるが, この「生活モデル」について, 以下の各問に答えなさい。

- (1) 「生活モデル」におけるクライアントのかかえる問題のとらえ方の特徴について, 説明しなさい。(150 字以内)
  
- (2) 仮に「不登校の男子中学生 A くん」がいたとします。A くんへの支援を例として, 「生活モデル」を用いて行うソーシャルワークを具体的に説明しなさい。(650 字以内)

## 問 6 (社会学)

以下の文章を読んで設問に答えなさい。

社会学では、マクロ的アプローチを代表する現代社会論とミクロ的アプローチを代表する相互作用論がある。こうした二つの視点をあわせもつ社会学は、対人援助や臨床実践の研究にどのように貢献しようとするか。具体的な社会病理や社会問題を想定して記述しなさい。(800字以内)

問題は回収します

2018 年度

立命館大学  
人間科学研究科入学試験問題

(2017 年 9 月 24 日実施)

博士課程前期課程

英語

<一般入試方式>

<2 時限目 60 分>

問. 以下の英文を読み、設問に答えなさい。

Apple introduced its iPhone in 2007 and the world has never been the same. Though the iPhone wasn't the first internet-enabled "smartphone," its touchscreen technology and built-in app library made it the first to gain mass-market appeal—and it sparked a revolution. Now, wireless mobile devices have found their way into millions of pockets, functioning not just as phones but as internet browsers, messaging services, calendars, cameras, alarm clocks, road maps and video players.

Smartphones undoubtedly make our lives easier, says Elizabeth Dunn, PhD, a psychology professor at the University of British Columbia, who studies the ways that mobile technology can support or undermine well-being. "Having the entire store of human knowledge at our fingertips is pretty useful," she quips. But there may be trade-offs for that convenience. Mobile technology also has the power to negatively influence our health and happiness, she says. "Our lab has gone looking for pros, but in general we keep finding cons."

So far, research on the effects of smartphone use on our behavior and our functioning has not crystallized into broad conclusions, in part because it's all happened so fast. Nevertheless, some patterns are emerging. The most established evidence centers around sleep. For example, Murdock, Horissian, and Crichlow-Ball (2017) followed 83 college students for a week and found that students who were more attuned to their nighttime phone notifications had poorer subjective sleep quality and greater self-reported sleep problems.

One explanation for the smartphone's interference with sleep is the "blue light" that smartphones and other tech devices emit. Such light affects the production of the sleep-regulating hormone melatonin. But laptops and tablets also emit blue light, suggesting other factors are at play.

Smartphones are even more portable than laptops or tablets, and are all too easy to bring into bed, notes Murdock. In fact, many people use them as alarms and keep them within arm's reach all night. Reading a text or email at bedtime can stir your emotions or set your mind buzzing with things you need to get done. "Your mind becomes activated at a time when it's really important to settle and have some peace."

Anxiety and smartphone use seem to often go hand in hand, says Larry Rosen, PhD, a professor emeritus of psychology at California State University, Dominguez Hills. In one study exploring this idea, he and his colleagues took phones away from college students for an hour and tested their anxiety levels at various intervals.

Light users of smartphones didn't show any increasing anxiety as they sat idly without their phones. Moderate users began showing signs of increased anxiety after about 25 minutes without their phones, but their anxiety held steady at that moderately increased level for the rest of the hour-long study. Heavy phone users showed increased anxiety after just 10 phone-free minutes, and unlike the moderate users, their anxiety levels continued to climb throughout the hour (Cheever, Rosen, Carrier,

& Chavez, 2014).

Rosen has found that younger generations are particularly likely to feel anxious if they can't check their text messages, social media and other mobile technology regularly. But people of all ages seem to have succumbed to the phenomenon known as "FOMO," or fear of missing out, on experiences and information that other people are involved in at any given moment. "We have created a system where we feel compelled to check in all the time," Rosen says.

Rosen and his colleagues explored the relationships between technology-related attitudes and a variety of mood and personality disorders. They found numerous links. Some were positive—having more Facebook friends combined with frequent phone conversations predicted fewer signs of depression, for instance. But many others were negative. For example, anxiety about not checking in with text messages and Facebook predicted symptoms of major depression, dysthymia and bipolar mania.

Ethan Kross, PhD, a professor of psychology at the University of Michigan, studies social media and well-being. He's found that when people use social network sites passively—scrolling through their Facebook newsfeed, reading other people's posts, consuming information—they report lower levels of well-being. "When people use Facebook passively, they feel worse from one moment to the next," he says.

That's in contrast to active users, who produce and upload information, engage in conversation and comment on others' posts. Such active use does not appear to harm subjective well-being, he says, though the research so far is split on whether active use actually promotes well-being or is simply neutral (Verduyn, Ybarra, Resibois, Jonides, & Kross, 2017).

The difference, Kross says, is that merely consuming social media often provokes people to make social comparisons, which can lead to feelings of envy. Actively participating in social media, on the other hand, seems to stimulate feelings of social connectedness. But the relationship between social media and emotional well-being is complex and doesn't always map neatly onto real-life behavior.

quip:ジョークを言う

emit:発する

emeritus:名誉退職の

succumb:屈服する

<出典>

Kirsten Weir, *(Dis)Connected*. American Psychological Association, March 2017, Vol.48, No.3, p.42.  
Reproduced with permission of American Psychological Association.

(1) スマートフォンが睡眠に与える影響はどのようなものか、また、その影響は、PCやタブレットとは違うのかを記述しなさい。(500字以内)

(2) SNS（ソーシャル・メディア）のアクティブユーザー（投稿・書き込みの多い人）とパッシブユーザー（閲覧の多い人）では、幸福の感じ方にどのような違いがあるのかを記述しなさい。(500字以内)

問題は回収します

2018 年度

立命館大学  
人間科学研究科入学試験問題

(2018 年 2 月 11 日実施)

博士課程前期課程

英語

<一般入試方式>

<2 時限目 60 分>

問. 以下の英文を読み, 設問に答えなさい。

Maybe you've been talking about taking that professional development class for months now, or you've really been meaning to update your retirement savings plan. It would really help you manage your stress if only you could get yourself to go to the gym. Setting goals is easy, but actually accomplishing them tends to be a lot harder.

New research in *Psychological Science* suggests that we may be more likely to actually follow through with our professional goals if we start on a Monday rather than a Thursday.

Across five studies, psychological scientists Hengchen Dai (Washington University in St. Louis), Katherine Millman (University of Pennsylvania), and Jason Riis (University of Pennsylvania) found that people are more motivated to pursue their goals on certain dates.

People tend to attribute negative traits and failures to their past selves while maintaining a positive image of their current selves. Dates that stand out as being more meaningful—such as the start of a new week or financial quarter, a birthday, or a holiday—signal the start of a new, distinct time period. These “temporal landmarks” make it easier for people to mentally separate from their past imperfections and failures.

Essentially, people are more empowered and motivated to pursue their goals when they feel like their past failures are behind them and their future success is ahead of them — a phenomenon the researchers dub “the fresh start effect.”

In one study, 165 participants completed a short online survey. First, they were instructed to describe a personal goal that they were planning on pursuing in the near future. Next, they received an offer of receiving a customized email to help remind them of their goal and how to accomplish it.

Participants could choose which date they wanted to receive their helpful reminder, ranging from March 18 (Tuesday) to March 24 (Monday).

At this stage, participants were randomly assigned to one of two experimental conditions: the fresh start condition or a control condition. In the fresh start condition, March 20<sup>th</sup> was identified as the first day of spring. In the control condition, March 20<sup>th</sup> was simply described as an ordinary day: “March 20, 2014 (Thursday; The Third Thursday in March 2014).”

Framing March 20<sup>th</sup> as a temporal landmark, as opposed to a regular Thursday, had a surprisingly large impact. Participants in the fresh start condition chose March 20<sup>th</sup> as their helpful reminder date at 3.5 times the rate as those in the control condition (26% vs. 7% respectively).

A survey of a separate group of 141 participants confirmed that most people really do think of the first day of spring as more of a new beginning compared to the third Thursday in March.

And data reported by Dai, Milkman, and Riis in the journal *Management Science* suggest that the fresh start effect may have a serious impact on people's real world behavior.

The researchers analyzed Google searches for the word "diet." Not only were people looking up dieting advice close to the New Year, but searches also peaked at the beginning of the week, the beginning of the month, and the day after a national holiday.

The researchers looked at student gym-going behavior at a university fitness center. Data collected from the gym's automatic card readers revealed that gym visits increased dramatically around temporal landmarks. Students were much more likely to exercise at the beginning of a new week, at the beginning of the semester, or right after a birthday.

Organizations trying to jump start employee motivation for long-term goals may want to consider timing. Simply waiting until after a holiday or the first of the month has the potential to improve people's motivation to pursue professional development, new projects, or even investing in their retirement savings.

The abundance of fresh start opportunities throughout the year offers repeated chances for people to attempt positive self-change, so even if they initially fail, they may subsequently succeed," the authors conclude.

(出典)

*Why Monday is the Best Day for Setting New Goals, from Association for Psychological Science, Nov 10, 2015.*

Reproduced with permission of Association for Psychological Science.

(1) "The fresh start effect" について、文中の "a short online survey" の内容に触れつつ説明しなさい。(400字以内)

(2) "The fresh start effect" が長期の目標達成のためにどのように活かされうるか、*Management Science* に掲載された Dai らの実験結果を踏まえて推論して述べなさい。(400字以内)

問題は回収します

2018 年度

立命館大学  
人間科学研究科入学試験問題

(2017 年 9 月 24 日実施)

博士課程後期課程

英語

<一般入試方式>

<1 時限目 60 分>

問. 次の英文を読み, (1), (2) に答えなさい。

People tend to perceive faces they are familiar with as looking happier than unfamiliar faces, even when the faces objectively express the same emotion to the same degree, according to new research published in *Psychological Science*, a journal of the Association for Psychological Science.

“We show that familiarity with someone else’s face affects the happiness you perceive in subsequent facial expressions from that person,” says researcher Evan Carr of Columbia Business School. “Our findings suggest that familiarity—just having ‘expertise’ with someone else’s face through repeated exposure—not only influences traditional ratings of liking, attractiveness, etc. but also impacts ‘deeper’ perceptions of the actual emotion you can extract from that person.”

The fact that people tend to prefer things they’re familiar with—whether people, objects, or other stimuli—has been demonstrated many times in research studies, in many different ways. But a fundamental question remains: Why do we prefer familiar things? Is it knowing that something is familiar that engenders positive feelings? Or could it be that familiarity actually leads us to perceive stimuli more positively?

Carr conducted this research at the University of California, San Diego in the Department of Psychology with colleagues Timothy F. Brady and Piotr Winkielman. They hypothesized that familiarity might guide our fundamental perceptual processes in a bottom-up fashion, selectively enhancing the positive features of a stimulus. To test this hypothesis, they designed two experiments that examined how people responded to familiar and unfamiliar faces.

In the first experiment, the researchers morphed images of male and female faces to create faces that varied in the type and degree of emotion expressed. This process resulted in a continuum of morphed faces that ranged from 50% angry to neutral to 50% happy. The researchers then divided the images into two sets.

A total of 50 undergraduate student participants came to the lab for a “memory task.” Each participant saw a series of images—the neutral expressions from one of the two image sets—and was tasked with tracking the color and number of squares that appeared randomly on some images. This task allowed the researchers to expose the participants to some of the faces in the full set of morphs without explicitly calling their attention to the faces.

Participants then viewed a series of face pairs in a perceptual task, where they had to indicate whether the happier face was above or below the line shown on screen. Importantly, each pair included a familiar and an unfamiliar face and the faces showed the same objective level of emotion.

The results were revealing: Participants were more likely to identify the familiar face as the happier one in the pair, despite the fact that the faces showed the same emotion to the same degree.

And they were increasingly more likely to choose the familiar face as the positive features

in the faces increased. That is, participants were more likely to identify the familiar face as happier when the faces were 50% happy than when they were 25% happy. Their selections did not show a bias toward familiarity, however, when the faces were angry.

In a second experiment, Carr and colleagues asked 40 undergraduate participants to look at a series of faces and decide whether each face was either “happy or angry.” The participants also estimated on a scale of 0% to 100% how happy the face looked.

The results replicated those of the first experiment: Participants were more likely to identify familiar faces as happy compared with unfamiliar ones, but only when the faces were emotionally neutral or positive. And their estimates of how happy the faces were increased as the positive features increased.

The data indicated that familiarity actually shifted how participants perceived the emotional content of the faces – that is, a familiar face needed to have fewer objectively happy features for it to be classified as happy compared with an unfamiliar face.

The two experiments show that familiarity specifically shapes how we perceive the positive aspects of a stimulus – that is, familiarity makes faces on the happy side of neutral appear more “smiley” but it doesn’t make faces on the angry side of neutral appear any less “frowny.”

Ultimately, the findings underscore how flexible emotion-perception processes are.

“Emotion perception isn’t only the ‘formulaic’ combination of facial features, it also dynamically incorporates cues specific to the individual you’re trying to decode,” says Carr. “Even the judgment of ‘how happy someone looks’ is inherently subjective to some extent, depending on your previous experience with the person along with the type of expression you’re judging.”

expertise: 専門的知識

engender: 生ずる、発生させる

morph: 変形させる

underscore: 強調する

(出典)

Evan W. Carr, *Familiar faces look happier than unfamiliar ones*, Association for Psychological Science, 2017. Reproduced with permission of Association for Psychological Science.

- (1) 記事の内容を要約しなさい。(500字以内)
  
- (2) 記事で紹介されている研究方法や批判すべき主張に対するあなたの意見を述べなさい。(500字以内)

問題は回収します

2018 年度

立命館大学  
人間科学研究科入学試験問題

(2018 年 2 月 11 日実施)

博士課程後期課程

英語

<一般入試方式>

<1 時限目 60 分>

問. 以下の英文を読み, 設問に答えなさい。

Focusing mainly on the benefits of high self-esteem might create the impression that high self-esteem is always a good thing. Alas, the benefit of high self-esteem may be balanced by drawbacks, as is the case with many tradeoffs.

(1)The negative aspects of high self-esteem may be especially apparent in the form of narcissism, a trait that is linked to high self-esteem but that captures its worst aspects. In psychology, narcissism refers to excessive self-love and a selfish orientation. Narcissists think very well of themselves and, as a result, are willing to take advantage of others. Among American college students, levels of narcissism have been increasing over time, though some experts (2)dispute the numbers. This self-centered generation has been dubbed “Generation Me.”

Narcissism is not the same as high self-esteem, but the two are related. Probably the simplest way to understand the link is to think of narcissism as a subset of high self-esteem. That is, nearly all narcissists have high self-esteem, but many people have high self-esteem without being narcissists. To be sure, there has been some controversy about the self-esteem of narcissists. They often act superior to other people and seem to think they deserve to be treated better than others, but clinical psychologists used to think (and some still think) that this egotistical behavior is a disguise that conceals secret feelings of insecurity and low self-esteem. However, research has not been very successful at finding that narcissists really have low self-esteem; indeed, narcissists seem to be confident if not downright conceited through and through. The only area in which they do not seem to rate themselves especially high concerns getting other people to like them, which narcissists are relatively indifferent about. Admiration is more important to them than liking, and they want and expect others to admire them.

Narcissists tend to be more aggressive and violent than other people, especially when they suffer a blow to their egos. The self-esteem movement had hoped that raising self-esteem would reduce aggression, but there is no sign that that works.

(3)High self-esteem (and not just narcissism) is also associated with higher prejudice. People who think well of themselves also tend to think their group is better than other groups, and they discriminate more heavily than other people in favor of their own group.

(4)Narcissists make poor relationship partners in many respects. Narcissists typically approach relationships with the attitude “What’s in it for me?” and hence do not really try to build a lasting intimacy with another person. They try to associate with glamorous people because they think these others will make them seem glamorous too. They adopt a “game-playing” approach to relationships that helps them maintain power and

autonomy without giving much of themselves to the other person. They are also prone to infidelity; if a seemingly more desirable partner comes along, the narcissist will not have many qualms about dumping his or her current partner and hooking up with the new one. More broadly, narcissists are not as loyal to their partners as other people. They are prone to take advantage of their partners when they get the chance. Narcissists often think they deserve someone better, so even if they have a good relationship they may still keep an eye out in case a more attractive or desirable partner comes along. Loving someone who loves himself (or herself) is no picnic because he will readily dump you in favor of someone else.

As we can see, most of the drawbacks of high self-esteem pertain to the person's relations with others. In tradeoff terms, high self-esteem has both costs and benefits, but (5)they are not distributed fairly. The benefits of someone's high self-esteem mostly go to the person himself or herself, whereas the costs of someone's high self-esteem mostly fall on other people.

(出典)

Roy F. Baumeister, Brad J. Bushman, *Social Psychology and Human Nature*, pp.103-104, © 2007 Cengage Learning. Reproduced with permission of South-Western College Publishing. A Division of Cengage Learning.

- (1) 下線部(1)を日本語に訳しなさい。(100字以内)
- (2) 下線部(2)の意味を説明しなさい。(50字以内)
- (3) 下線部(3)が指す者は、どのような特徴をもっていると書かれているか、簡潔に説明しなさい。(50字以内)
- (4) 下線部(4)が指す者がもっている特徴を3点、簡潔に説明しなさい。(各50字以内)
- (5) 下線部(5)の内容を簡潔に説明しなさい。(50字以内)
- (6) 文章全体を読んで、あなたが感じることを、考えることを述べなさい。(200字以内)